

「高校生のための学びの基礎診断」への申請について

2018年 6月 27日

①事業者名	株式会社ベネッセコーポレーション					
②測定ツール名	GTEC Advancedタイプ・Basicタイプ・Coreタイプ					
③主な対象者	中学1年生～高校3年生					
④対象教科	国語	数学	英語	⑤測定内容の区分	基本タイプ	標準タイプ
			○		○	○
⑥申請する測定ツールの目的・概要	実際の言語使用場面を前提とし、英語コミュニケーション能力を測定することを目的としたスコア型4技能検定です。授業で学んだ英語を「実際に使う」手ごたえを感じられる日本の中高生に適した出題です。自分が登場人物になったつもりで取り組める問題も出題されており、受検そのものが英語を使った生活体験に感じられるように工夫しています。					
⑦申請する測定ツールの特長・活用例等	◆特長1：技能別の英語力をスコア型の絶対評価で測定 技能別の英語運用力を絶対評価で示しますので、英語力の伸びを実感できます。継続的に受検することで、「過去の自分からどれだけ成長したか」を数値で把握できます。スコアは4技能のCEFRレベル別結果を確認することができます。 ◆特長2：日本の中高生の英語力を測るのに適した問題 授業で学んだ英語を「実際に使う」という手ごたえを感じられる出題です。また、背景知識に左右されないため、より正確に生徒の現在の英語力とその伸長がスコアに現れます。 ◆特長3（及び、活用例）：振り返りに役立つ充実したフィードバック 詳細な教師用帳票とスコアレポート（個人別成績票）により、次のご指導・学習のポイントが明確になります。また、生徒一人ひとりに音声付きの付属学習教材「スキルUPワーク」を提供します。 活用例）長期休暇前にテストを受検し、テスト結果に応じて、休暇中に、「スキルUPワーク」で自身の英語力を高めることが可能です。					
⑧実施期間、年間実施回数	◆検定としてのGTECは、年3回の実施日を予定しており、日程と受検できる問題タイプ等につきましては、下記の弊社GTECのウェブサイトからご確認ください。 ◆アセスメントとしてのGTECをご受検いただく場合は、2019年度の申込開始は2018年12月から、実施開始は2019年4月からを予定しております。どの問題タイプにおいても、問題内容は4月と10月に切り替え予定で、同じ問題タイプでも年に2回ご受検いただけます。 ※上記は、大学入試成績提供システムにおいて、高校3年生時に利用できるGTEC Advancedタイプ・Basicタイプ・Coreタイプ（2020年度～）とは異なる実施形態のテストとなります。					
⑨実施方式（CBT/PBT）	「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の3技能は紙で、「話すこと」はタブレットでの実施となります。					
⑩試験時間（分）	国語	数学	英語			
			◆Advanced/Basic：合計120分 聞くこと：約25分、読むこと：約45分 話すこと：約25分、書くこと：約25分 ◆Core：合計102分 聞くこと：約20分、読むこと：約32分 話すこと：約25分、書くこと：約25分			
⑪受検料	・検定としてのGTECをご受検いただく場合（4技能） 9月末日実施分まで（8%税込）：6,270円 10月実施分から（10%税込）：6,380円 ・アセスメントとしてのGTECをご受検いただく場合（4技能） 9月末日実施分まで（8%税込）：5,600円 10月実施分から（10%税込）：5,700円					
⑫標準返却期間	答案弊社到着後、約1.5～2ヶ月					
⑬URL（事業者のHPにおける測定ツール紹介）	https://www.benesse.co.jp/gtec/fs/					

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:GTEC Advanced タイプ

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

I. 出題に関すること

(1)出題の基本方針

①主な対象者

高校1年生～高校3年生

②測定しようとする資質・能力

＜全タイプ共通＞

「聞くこと」に関する資質・能力、「読むこと」に関する資質・能力、「話すこと」に関する資質・能力、「書くこと」に関する資質・能力。

③出題範囲

タイプ	出題範囲
Advanced	義務教育範囲、コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、英語表現Ⅰ、Ⅱ

④出題方針

実際の言語使用場面を前提とし、英語コミュニケーション能力を測定することを目的としたスコア型4技能検定です。授業で学んだ英語を「実際に使う」手ごたえを感じられる、日本の中高生に適した出題です。自分が登場人物になったつもりで取り組める問題も出題されており、受検そのものが英語を使った生活体験に感じられるように工夫しています。

※「知識・技能」を問う問題 … 視覚的情報をもとに、状況や場面、事物を描写説明した短文を聞き分ける力や短文の文脈を理解するとともに、語彙選択上最も適切な表現を正確に判断する力を問う問題を出題します。

※「思考力・判断力・表現力」を問う問題 … その場で求められている課題(タスク)を解決する力、全体の概要を理解する力などを問うとともに、相手に伝わるように状況を説明する力や与えられた話題について、限られた時間の中で自分の意見を説得力を持って表現する力を問う問題など、発信技能に関する出題も充実しています。

⑤出題構成と学習指導要領との対応

- ・GTECは学習指導要領に則ったテストです。各タイプの学習指導要領との対応関係は以下の通りで、各出題に対応している学習指導要領の科目・項目を「※」で示しています。
- ・必修修範囲外のコミュニケーション英語Ⅱ、英語表現Ⅱに力点が置かれている場合は、下線を引いています。
- ・2019年度より、「書くこと」の出題において、与えられたEメールで問われる内容について、限られた時間の中で適切な回答を表現する力を問う、「Eメール」問題を追加します。

Listening/聞くこと	Reading/読むこと	Speaking/話すこと	Writing/書くこと
A 写真・イラスト説明 10 問 (写真など与えられた視覚的情報をもとに、状況や場面、事物を描写説明した短文を聞き分ける力) ※コミュニケーション英語Ⅰ (1) ア (2) ア ※コミュニケーション英語Ⅱ (1) ア ※義務教育範囲(1) 言語活動 ア 聞くこと(ア)(イ)を一部含む	A 短文文脈理解 14 問 (短文の文脈を理解するとともに、語彙選択上最も適切な表現を正確に判断する力) ※コミュニケーション英語Ⅰ (2) イ ※義務教育範囲(1) 言語活動 ウ 読むこと(ア)(イ)(ウ)を一部含む	A 音読 2 問 (英文を読み上げる形式の出題で、状況や英文を理解した上で、正確な発音で音読する力) ※コミュニケーション英語Ⅰ (2) ア ※コミュニケーション英語Ⅱ (2) ア ※英語表現Ⅰ (2) ア ※英語表現Ⅱ (2) ア ※義務教育範囲(1) 言語活動 イ 話すこと(ア)を一部含む	A E メール 1 問 (与えられた E メールで問われる内容について、限られた時間の中で適切な回答を表現する力) ※コミュニケーション英語Ⅰ (1) エ (2) イ ※コミュニケーション英語Ⅱ (1) エ (2) エ ※英語表現Ⅰ (1) イ (2) イ ※義務教育範囲(1) 言語活動 エ 書くこと(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)を一部含む
B 会話応答 10 問 (事前予測ができる情報がない中で、不意の質問に対する適当な応答を素早く判断し処理する力) ※コミュニケーション英語Ⅰ (2) ア	B-1 概要把握 6 問 (与えられた英文の題材について、短時間で全体の概要を理解する力) ※コミュニケーション英語Ⅰ (1) イ (2) イ ※コミュニケーション英語Ⅱ (1) イ	B 質問応答 4 問 (図示された情報を読み取り、それに関する質問を聞き取った上で、適切に応答する力) ※コミュニケーション英語Ⅰ (1) ウ ※コミュニケーション英語Ⅱ (1) ウ ※義務教育範囲(1) 言語活動 イ 話すこと(イ)(ウ)を一部含む	B 意見展開(Essay) 1 問 (社会的なテーマに対して、限られた時間の中で自分の意見を説得力を持って表現する力) ※コミュニケーション英語Ⅰ (1) エ (2) イ ※コミュニケーション英語Ⅱ (1) エ (2) イエ ※英語表現Ⅰ (1) イ (2) イ ※英語表現Ⅱ (2) イ
C 課題解決 10 問 [事前に与えられる視覚情報と音声情報から、その場で求められている課題(タスク)を解決する力] ※コミュニケーション英語Ⅰ (1) ア (2) ア ※コミュニケーション英語Ⅱ (1) ア	B-2 情報検索 8 問 (与えられた英文の題材について、短時間で必要な情報を引き出す力) ※コミュニケーション英語Ⅰ (1) イ (2) イ ※コミュニケーション英語Ⅱ (1) イ (2) イ	C ストーリー説明 1 問 (日常的な出来事について、話の流れを踏まえて相手に伝わるように状況を説明する力) ※コミュニケーション英語Ⅰ (1) ウ ※コミュニケーション英語Ⅱ (1) ウ (2) エ ※英語表現Ⅰ (1) アウ (2) ウ ※英語表現Ⅱ (1) ア (2) ウ	

D 要点理解 10 問 (一定以上の長さの英文を聞き、事前に与えられる英語の質問に答えるため必要な情報を選択、適切な判断をする力) ※コミュニケーション英語Ⅰ (1) ア (2) ア ※コミュニケーション英語Ⅱ (1) ア (2) ア	C 要点理解 15 問 (多めの英文について、趣旨に関する内容や詳細部分の要点を理解し、必要な情報を読み取る力) ※コミュニケーション英語Ⅰ (1) イ (2) イ ※コミュニケーション英語Ⅱ (1) イ (2) イ	D 意見陳述 1 問 (身近で社会的なテーマに対して、自分の意見とその意見をサポートする理由を言う力) ※コミュニケーション英語Ⅰ (2) アウ ※コミュニケーション英語Ⅱ (2) アエ ※英語表現Ⅰ (1) アウ (2) アウエ ※英語表現Ⅱ (1) ア (2) アウ	
---	--	---	--

⑥出題形式(詳細は「(2)構成等」に記載)

- ・聞くこと … 選択式
- ・読むこと … 選択式
- ・話すこと … 録音式
- ・書くこと … 記述式

⑦難易度

CEFR では A1～B2 まで測定可能なテストとなっています。

(2)構成等

①出題形式

Advanced

	配点	試験時間	実施方法	出題形式
聞くこと	320 点	約 25 分	筆記	選択式
読むこと	320 点	約 45 分	筆記	選択式
話すこと	320 点	約 25 分	タブレット	録音式
書くこと	320 点	約 25 分	筆記	記述式

※実施方法に関する補足

聞くこと … CD による一斉実施方式。

話すこと … タブレット（一人一台）による録音方式。

②出題範囲と割合

タイプ	出題範囲	出題割合
Advanced	義務教育範囲	約 0.5～1 割
	コミュニケーション英語Ⅰ、英語表現Ⅰ	約 6～7 割
	コミュニケーション英語Ⅱ、英語表現Ⅱ	約 3～4 割

※出題語彙・文法 … 中学～高校の学習指導要領の範囲の語彙・文法レベル

※出題割合に関する補足

「聞くこと」Part Dにおいては、コミュニケーション英語Ⅱのみで扱われる「事物に関する報告の内容を理解する」ことに相当する出題があり、「読むこと」Part Cにおいては、コミュニケーション英語Ⅱのみで扱われる「書き手の意見が述べられることが増える評論について、目的に応じた読み方をする」ことに相当する出題があります。また、「話すこと」Part Dと「書くこと」Part Bにおいては、社会的なテーマについて、論理的に話したり、自分の意見をまとまりのある

文章で書いたりする必要性があることから、コミュニケーション英語Ⅱや英語表現Ⅱに相当する出題です。併せて、出題する語彙や文法レベルを踏まえ、必履修範囲の割合を約7～8割、それ以外を約2～3割としています。

(3) 難易度設定の考え方・方法

GTECにはCore、Basic、Advancedという3つの難易度別の問題タイプがあり、中学生および高校生の英語力を測るのに適した難易度設定になっています。目安受検学年は、Advancedでは、高校1年生～3年生となっています。また、CEFRではA1～B2まで測定可能なテストとなっています。いずれのテスト版においても、問題企画に沿って出題をしており、使用する語彙レベルや文法レベルなども出題企画に沿って作問されます。加えて、1問1問の難易度は事前に被験者（約1500名）を集めて分析したデータをもとに設定されており、その分析結果をもとに項目応答理論（IRT）という手法を用いてスコア化しています。

(4) 基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- ・実際の言語使用場面を前提とし、英語コミュニケーション能力を測定することを目的としたスコア型4技能検定です。授業で学んだ英語を「実際に使う」手ごたえを感じられる、日本の中高生に適した出題です。自分が登場人物になったつもりで取り組める問題も出題されており、受検そのものが英語を使った生活体験に感じられるように工夫しています。
- ・受検後、約1か月半で受検者に製本された紙媒体のスコアレポート（個人成績票）を学校経由でお届けします。項目応答理論（IRT）を利用して、技能ごとの絶対評価によるスコアを受検者にはお返ししますので、受検者はスコアの推移で英語力の伸びを実感できるようになっています。
- ・スコアレポートには、受検者一人ひとりに対し、各技能を伸ばしていくために日々の学習で何をすべきかのアドバイスや、付属教材「スキルUPワーク」の具体的な学習ページも示されています。また、受検者の書いたWriting答案に添削を入れた画像も含まれており、観点別に採点された結果に加え、採点者からのメッセージも付けてお返しします。

Ⅱ. 結果提供に関すること

(1) 受検者個人への結果提供内容・方法

- ・受検者には下記の項目をフィードバックとして提出します。
 - ① 受検月
 - ② 各技能 及び Total のスコア
 - ③ 各技能 及び Total のグレード
 - ④ 各技能 及び Total の校内平均スコア
 - ⑤ 各技能 及び Total の校内順位
 - ⑥ リーディングのWPM (words per minute)
 - ⑦ 各技能 及び Total のCan Doメッセージ
 - ⑧ 各技能 及び Total の成績推移
 - ⑨ 問題Part別の全国平均正解率・校内平均正解率・受検者平均正解率
(リーディング・リスニング)
 - ⑩ 小問単位での受検者の解答と正誤 (リーディング・リスニング)
 - ⑪ 採点観点別の受検者の素点 (ライティング・スピーキング)
 - ⑫ 学習アドバイス
 - ⑬ 付属教材「スキルUPワーク」の取り組みページ
 - ⑭ 受検者の書いたWriting答案 (添削有り)
 - ⑮ Writing答案に対する採点者からのメッセージ
- ・受検後、約1か月半で受検者に、技能ごとのスコアやグレード等が掲載されている、製本され

た紙媒体のスコアレポート（個人成績票）を学校経由でお届けします。

(2) 学校等への結果提供内容・方法

- ・学校には下記の項目をフィードバックとしてお返しします。
 - ① 実施月
 - ② 各技能 及び Total の全国 及び 校内平均スコア（過年度 及び 過回の結果を含む）
 - ③ 各技能 及び Total の校内平均 グレード
 - ④ リーディングの全国 及び 校内平均 WPM (words per minute)
 - ⑤ 各技能 及び Total の校内平均スコア推移
 - ⑥ 各技能 及び Total のスコア成績分布（過年度 及び 過回の結果を含む）
 - ⑦ 各技能の指導アドバイス
 - ⑧ 問題 Part 別・設問別の全国平均正解率・校内平均正解率（リーディング・リスニング）
 - ⑨ 問題 Part 別 当該校注目問題（リーディング・リスニング）
 - ⑩ 設問別正解率一覧（リーディング・リスニング）
 - ⑪ 採点観点別の素点分布（ライティング・スピーキング）
 - ⑫ 問題ごとに高得点者 1 名・平均得点者 1 名のライティング答案例
 - ⑬ クラス別成績一覧
 - ⑭ 各技能の成績トップ 20・前回からの成績推移トップ 20
 - ⑮ 個人成績一覧（Total スコアの降順）
 - ⑯ Writing 答案に対する採点者からのメッセージ
- ・受検後、約 1 か月半で学校に製本された紙媒体の団体帳票をお届けします。技能ごとに詳細なフィードバックをお返ししますので、学校が設定した到達目標に達することができたかどうかを検証し、校内の指導改善に活かすことができます。
- ・受検者全員の「個人成績一覧」・「ライティング答案（PDF ファイル形式）」 及び 成績上位者・中位者の「スピーキング解答音声データ」を Web 経由にて提供します。
- ・学校からの要望に応じ、弊社担当者による受検結果報告会を実施します。

(3) 試験等の結果（正答状況やスコア等）に対する評価の考え方と分析の手法

GTEC のスコアは「IRT (Item Response Theory)」という統計手法で算出されています。IRT で算出されたスコアは同一尺度上に表現されるためスコアを直接比較することが可能なので、問題タイプ間の比較 (Core、Basic、Advanced) や過去受検回との比較をすることができます。また、各技能のスコアに応じて can-do statements が設定されており、さらに CEFR (Common European Framework of Reference for Languages : ヨーロッパ言語共通参照枠) レベルではどのレベルになるかの対照表をもとに、該当 CEFR レベルを併せて返却しています。

※GTEC では Council of Europe が公表している手法に基づき CEFR との対応関係を検証しています。その検証において、「読むこと」「聞くこと」「書くこと」「話すこと」の各 CEFR レベルにおける閾値スコアを判定しているため、技能ごとに CEFR レベルとの対応関係を確認することが可能です。また、スコア型の検定として各技能の閾値スコアを加算し、4 技能総合の閾値スコアも示しています。

Ⅲ. 運営に関すること

(1) 問題の質を確保するための方法

①信頼性について

事前のフィールドテストで得られた項目パラメータ（識別力、困難度）を用い、各テスト版について、テスト特性曲線、テスト情報量、条件付き測定標準誤差を計算します。これらの値は統計的仕様で定められた基準値と比較され、不十分であれば問題の差し替え等の対応を行います。このプロセスを通じて、各テスト版の測定精度が十分高くなるように管理しています。

②妥当性の研究・検証結果等

GTEC については、これまで下記の妥当性研究をしています。

- ・ GTEC スコアと CEFR レベル関連付け調査報告(2017)
http://cees.or.jp/pdf/reports/2017/Standard_Setting_Report.pdf

③作問体制、第三者評価(外部有識者を含む)、検証方法等

作問時に第三者（外部有識者を含む）を交えた審査会を実施しています。また、全国検定振興機構に加盟をしており、今後は当機構による第三者評価を予定しています。

- ・ 作問体制：作問は海外の作問会社で執筆、社内での確認（1 版あたり、10 名程度）、第三者評価（7 名程度）で行います。
- ・ 検証方法：実施結果を踏まえ、版全体としての、テスト特性曲線、テスト情報量、1 問毎の項目特性（識別力、困難度）の確認を行います。その結果は作問関連者に共有し、それ以降の作問に活かすこととしています。

(2) 学校における実施方法(アセスメントとしての GTEC を受検いただく場合の実施方法)

- ・ 「実施の手引き」を送り、手引きを参考にして先生に実施いただきます。技能毎に別日受検もできます。
- ・ リーディング・リスニング・ライティングの3技能は、CDを流したままで試験を進める形式のため、基本的に試験中は先生が指示を出す必要はありません。CDから日本語ナレーションが流れ、解答時間もCDで進行管理します。主に先生に行っていただくことは、①問題冊子や解答用紙等の配布・回収 ②CDの再生 ③試験時間中の監督 です。
- ・ スピーキングは、弊社よりタブレットを貸し出し（最大5営業日）、音声を読み込んでご返送いただく形で実施します。「試験監督先生用マニュアル」の台本にしたがって先生に指示を出していただき、テスト開始後はアプリで自動的に進行します。スピーキングの実施にネットワーク環境は必要ありませんので、教室でそのまま実施いただけます。主に先生に行っていただくことは、①タブレットやイヤホン等の配布・回収 ②進行に関する説明 ③試験時間中の監督 です。
- ・ 実施まわりについて不明点などあれば、お客様サービスセンター（電話窓口）で承ります（受付時間／月～金 8:00～19:00 土 8:00～17:00 祝日、年末・年始を除く）。なお、日曜日は受付することができません。
- ・ 欠席者などへの対応について、後日実施が可能です。ただしスピーキングのタブレットの貸出期間は最大5営業日で延長ができませんので、その期間中での実施をお願いします。

※検定としての GTEC を受検いただく場合の実施方法については、現在検討中です。

(3)採点の方法と体制

①採点の仕組み

- ・年間を通して英語アセスメントの採点業務を行っている海外の拠点にて採点を実施しています。
- ・採点会場に採点者を集め、システムを使用し安全な情報管理のもと採点業務を遂行しています。

②採点者の採用・研修、品質チェック

- ・採用試験

英語能力試験及び面接を実施し、一定の基準を満たした者を採用しています。

- ・初期研修

所定の研修プログラムに沿ってトレーニングを実施しています。

業務の理解度が十分であると判断された後、事前研修に参加させます。

- ・事前研修

初期研修後、実際の採点を想定した事前研修を実施しています。

事前研修の修了テストで合格した者のみが採点業務に従事しています。

- ・品質チェック

採点中は採点監督者による品質チェックを実施しています。

結果に応じて採点者を個別に指導し、改善が見られない場合には当該採点者による採点を中止させます。

③採点方法

- ・すべての解答は、複数名の採点者で採点しています。
- ・2名の採点者が同じ解答をそれぞれに採点し、2名の採点結果が異なる場合、システムで対象解答を抽出します。
- ・抽出された対象解答については、採点監督者が最終採点結果を確定します。

(4)情報管理体制

セキュリティ

- ・ベネッセは、ISO27001（情報セキュリティマネジメント）、JISQ15001（P マーク）の認定を取得しています。各規格の要求事項を踏まえ、業務の構築・運用設計を行い、機密情報や個人情報に関する破損・紛失・漏えいリスクの低減や回避を図ります。

全体では、以下の観点でセキュリティ施策を実施します。

観点	概要
A. 人に関する施策	(1)ベネッセグループのセキュリティ規程研修の実施 (2)機密(個人)情報取り扱い各種ルール遵守
B. 場所に関する施策	(1)ゾーニング施策によるセキュリティ水準確保 ①関係者以外の侵入防止と入退出管理・履歴取得 ②災害対策 ③情報隔離・持ち出し防止 ④保管・廃棄時の安全性確保 (2)拠点の設備・運用の安全性の確認
C. 工程に関する施策	(1)各工程で個別に配慮すべき施策内容・留意事項の確認 ①情報の取得(生成)時 ②情報の利用時 ③情報保管期間内 ④情報の移送(送信)時 ⑤情報の廃棄(消去)時
D. 電子的情報に関する施策	ベネッセセキュリティ基準に準じ、使用する情報機器のセキュリティ対策
E. 業務システムに関する施策	ベネッセのセキュリティ基準に則りセキュリティ施策を実施

- ・緊急事態や不測の事態へ対応するため、発生時の報告・連絡・相談体制をあらかじめ構築します。
- ・事故・障害発生時に備えて、あらかじめ担当メンバーの緊急連絡網を作成し、重大事案発生時には速やかに事業推進責任者に報告を行い、対応の判断・指示をすることで、的確かつ迅速に対応し、影響を最小限に抑える体制を準備します。

※「Ⅲ. 運営に関すること」に関する上記の内容は、2018 年 11 月末時点の情報です。

IV. 情報開示に関すること

(1) 障害のある受検者等への配慮

区分	対象となる者	配慮する事項
視覚に関する配慮事項	①点字教育を受けている者	①点字教育を受けている者 ■問題冊子・解答方法 「読む」「聞く」「書く」 ・点字問題冊子・点字解答用紙 「話す」 ・点字問題冊子・タブレット端末（解答録音用） ■試験時間 「読む」・通常の約3倍に延長 「聞く」・通常の約1.5倍に延長 「書く」・通常の1.5倍に延長 「話す」・延長対応（何倍にするかは現在調査中）
	②弱視者（障害程度等級が6級程度）	②弱視者（障害程度等級が6級程度） ■問題冊子・解答方法 「読む」「聞く」「書く」 ・文字拡大の問題冊子と通常問題冊子 ・問題冊子の解答番号にチェックする解答 「話す」 ・文字拡大の問題冊子・タブレット端末（通常版） ■試験時間 「読む」 ・（希望に応じて）通常の1.5倍に延長 「聞く」「書く」「話す」 ・通常実施
	③上記以外の視覚障害者で、学校側で配慮が必要と判断した者	③上記以外の視覚障害者 ■問題冊子・解答方法 「読む」「聞く」「書く」 ・問題冊子の解答番号にチェックする解答 ・そのほかは通常実施 「話す」 ・通常実施

聴覚に関する配慮事項	①聾者・重度難聴者 ②中・軽度難聴者	①聾者・重度難聴者 ■問題冊子・解答方法 「読む」「書く」 ・通常実施 「聞く」 ・スクリプトのご提供 「話す」 <口話にも障害がある受検者> ・スピーキング免除（非受検のご案内） <口話に障害がほとんどない受検者> ・通常実施（一部のパートについて問題カードを提供） ・採点拠点へ該当受検者の情報を連携 ②中・軽度難聴者 ■問題冊子・解答方法 「読む」「書く」 ・通常実施 「聞く」 ・強音放送、ヘッドセットの装用を許可した上で通常実施 「話す」 ・補聴器や人工内耳の装用を許可した上で通常実施
------------	-----------------------	---

※別室での受検が必要な場合は、学校にて準備をしていただきます。

※「問題冊子の解答番号にチェックする解答」を選択いただいた場合、マークシートへの転記は学校の先生にお願いしています。

(2) 事前／事後学習教材の有無、内容

①事前学習教材:教師用ガイドセット(無料)

初めて GTEC を受検する生徒が、GTEC 独特の出題形式になれることができる、一斉指導用の教材を先生にお渡ししています。「トライアルテスト」「『情報検索』問題集」「『表現力を育む』演習冊子」が含まれており、GTEC 受検前の事前準備として活用可能です。

トライアルテスト	GTEC と同様の出題形式の練習問題となっています。生徒が本番で実力を発揮できるよう、GTEC 受検前に授業時間 40 分ほどを使ってトライアルテストを実施し、出題形式に慣れさせることが可能です。
「情報検索」問題集	GTEC Reading Part B の出題形式に対応した、英文の広告などを読み取る情報検索型の問題集です。短時間で必要な情報のみを引き出すスキミング力を育成する問題内容となっています。計 18 題掲載しており、朝学習の時間などにも活用可能となっています。
「自分の意見を伝える」演習冊子 ※リニューアルのため 名称未確定	英語によるアウトプット活動の取り組み方を示した演習冊子です。表現活動に入る前のブレインストーミングの活動などの説明も含まれており、段階的な演習を授業冒頭 15 分ほどで実施することが可能です。

②事後学習教材：スキルUPワーク(無料)

事後学習教材として、生徒一人ひとりにスキルUPワークを配付しています。また、「話すこと」についてはWeb上で学習をすることができます。

スキルUPワーク (聞くこと、読むこと、 書くこと)	リスニング・リーディング・ライティングの3技能について、自分のCEFRに対応した学習ページに取り組むことで、効果的な学習ができる付属学習教材です。個人成績票を見て気づいた自分の英語力の強み・弱みに合わせて、技能ごとに学習に取り組むことができます。
スキルUPワーク (話すこと)	2019年より、スピーキングについては、Web上で事後学習ができる付属学習教材が追加されます。個人成績票を見て気づいた自分の英語力の強み・弱みに合わせて、学習に取り組むことができます。

※いずれの技能についても、以下のような構成で学習を促進しています。

- ・スキルトレーニング：CEFRごとにスラッシュリーディングや要約など、多様な学習法で各技能を学ぶことができます。自分のCEFRと、一つ上のレベルのCEFRに合わせて取り組むことで、CEFRに応じた英語力を伸ばすことができます。
- ・スキルプラクティス：スキルトレーニングに取り組んだ後の実践練習問題。GTECと同じ形式の練習問題で、スキルトレーニングの取り組みの成果を確認できます。

(3)学習状況等のアンケートの有無、内容

学習状況等のアンケートは特に実施していません。

(4)個人受検の可否

個人受検いただくことはできません。

(5)問題内容の情報提供

問題の一部をWebサイトに公開しています。また、学校からご要望をいただいた場合は、見本として渡しているテスト冊子（各タイプ1セット）があります。

(6)その他

- ・教育委員会等への情報提供に係る対応として、学校から教育委員会等への情報提供の元となる書式・集計結果を提供します。前提として、教育委員会等への情報提供は、弊社から直接は行えません。但し教育委員会主催の場合はこの限りではありません。

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:GTEC Basic タイプ

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

I. 出題に関すること

(1)出題の基本方針

① 主な対象者

中学校3年生～高校2年生

②測定しようとする資質・能力

＜全タイプ共通＞

「聞くこと」に関する資質・能力、「読むこと」に関する資質・能力、「話すこと」に関する資質・能力、「書くこと」に関する資質・能力。

③出題範囲

タイプ	出題範囲
Basic	義務教育範囲、コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、英語表現Ⅰ、Ⅱ

④出題方針

実際の言語使用場面を前提とし、英語コミュニケーション能力を測定することを目的としたスコア型4技能検定です。授業で学んだ英語を「実際に使う」手ごたえを感じられる、日本の中高生に適した出題です。自分が登場人物になったつもりで取り組める問題も出題されており、受検そのものが英語を使った生活体験に感じられるように工夫しています。

※「知識・技能」を問う問題 … 視覚的情報をもとに、状況や場面、事物を描写説明した短文を聞き分ける力や短文の文脈を理解するとともに、語彙選択上最も適切な表現を正確に判断する力を問う問題を出題します。

※「思考力・判断力・表現力」を問う問題 … その場で求められている課題(タスク)を解決する力、全体の概要を理解する力などを問うとともに、相手に伝わるように状況を説明する力や与えられた話題について、限られた時間の中で自分の意見を説得力を持って表現する力を問う問題など、発信技能に関する出題も充実しています。

⑤出題構成と学習指導要領との対応

GTECは学習指導要領に則ったテストです。各タイプの学習指導要領との対応関係は以下の通りで、各出題に対応している学習指導要領の科目・項目を「※」で示しています。

- ・必履修範囲外のコミュニケーション英語Ⅱ、英語表現Ⅱに力点が置かれている場合は、下線を引いています。
- ・2019年度より、「書くこと」の出題において、与えられたEメールで問われる内容について、限られた時間の中で適切な回答を表現する力を問う、「Eメール」問題を追加します。

Basic

Listening/聞くこと	Reading/読むこと	Speaking/話すこと	Writing/書くこと
A イラスト説明 10 問 (写真など与えられた視覚的情報をもとに、状況や場面、事物を描写説明した短文を聞き分ける力) ※コミュニケーション英語Ⅰ (1) ア (2) ア ※コミュニケーション英語Ⅱ (1) ア ※義務教育範囲(1) 言語活動 ア 聞くこと (ア)(イ)	A 短文文脈理解 12 問 (短文の文脈を理解するとともに、語彙選択上最も適切な表現を正確に判断する力) ※コミュニケーション英語Ⅰ (2) イ ※義務教育範囲(1) 言語活動 ウ 読むこと (ア)(イ)(ウ)	A 音読 2 問 (英文を読み上げる形式の出題で、状況や英文を理解した上で、正確な発音で音読する力) ※コミュニケーション英語Ⅰ (2) ア ※コミュニケーション英語Ⅱ (2) ア ※英語表現Ⅰ (2) ア ※英語表現Ⅱ (2) ア ※義務教育範囲(1) 言語活動 イ 話すこと (ア)	A E メール 1 問 (与えられた E メールで問われる内容について、限られた時間の中で適切な回答を表現する力) ※コミュニケーション英語Ⅰ (1) エ (2) イ ※コミュニケーション英語Ⅱ (1) エ (2) エ ※英語表現Ⅰ (1) イ (2) イ ※義務教育範囲(1) 言語活動 エ 書くこと (ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)
B 会話応答 10 問 (事前予測ができる情報がない中で、不意の質問に対する適当な応答を素早く判断し処理する力) ※コミュニケーション英語Ⅰ (2) ア	B-1 概要把握 4 問 (与えられた英文の題材について、短時間で全体の概要を理解する力) ※コミュニケーション英語Ⅰ (1) イ (2) イ ※コミュニケーション英語Ⅱ (1) イ	B 質問応答 4 問 (図示された情報を読み取り、それに関する質問を聞き取った上で、適切に応答する力) ※コミュニケーション英語Ⅰ (1) ウ ※コミュニケーション英語Ⅱ (1) ウ ※義務教育範囲(1) 言語活動 イ 話すこと (イ)(ウ)	B 意見展開(Essay) 1 問 (社会的なテーマに対して、限られた時間の中で自分の意見を説得力を持って表現する力) ※コミュニケーション英語Ⅰ (1) エ (2) イ ※コミュニケーション英語Ⅱ (1) エ (2) イエ ※英語表現Ⅰ (1) イ (2) イ ※英語表現Ⅱ (2) イ
C 課題解決 10 問 [事前に与えられる視覚情報と音声情報から、その場で求められている課題(タスク)を解決する力] ※コミュニケーション英語Ⅰ (1) ア (2) ア ※コミュニケーション英語Ⅱ (1) ア	B-2 情報検索 8 問 (与えられた英文の題材について、短時間で必要な情報を引き出す力) ※コミュニケーション英語Ⅰ (1) イ (2) イ ※コミュニケーション英語Ⅱ (1) イ (2) イ	C ストーリー説明 1 問 (日常的な出来事について、話の流れを踏まえて相手に伝わるように状況を説明する力) ※コミュニケーション英語Ⅰ (1) ウ ※コミュニケーション英語Ⅱ (1) ウ (2) エ ※英語表現Ⅰ (1) アウ (2) ウ ※英語表現Ⅱ (1) ア (2) ウ	

D 要点理解 10 問 (一定以上の長さの英文を聞き、事前に与えられる英語の質問に答えるため必要な情報を選択、適切な判断をする力) ※コミュニケーション英語Ⅰ (1) ア (2) ア ※コミュニケーション英語Ⅱ (1) ア (2) ア	C 要点理解 12 問 (多めの英文について、趣旨に関する内容や詳細部分の要点を理解し、必要な情報を読み取る力) ※コミュニケーション英語Ⅰ (1) イ (2) イ ※コミュニケーション英語Ⅱ (1) イ (2) イ	D 意見陳述 1 問 (身近で社会的なテーマに対して、自分の意見とその意見をサポートする理由を言う力) ※コミュニケーション英語Ⅰ (2) アウ ※コミュニケーション英語Ⅱ (2) アエ ※英語表現Ⅰ (1) アウ (2) アウエ ※英語表現Ⅱ (1) ア (2) アウ	
---	--	---	--

⑥出題形式(詳細は「(2)構成等」に記載)

- ・聞くこと … 選択式
- ・読むこと … 選択式
- ・話すこと … 録音式
- ・書くこと … 記述式

⑦難易度

CEFR では A1～B1 まで測定可能なテストとなっています。

(2)構成等

①出題形式

Basic

	配点	試験時間	実施方法	出題形式
聞くこと	270 点	約 25 分	筆記	選択式
読むこと	270 点	約 45 分	筆記	選択式
話すこと	270 点	約 25 分	タブレット	録音式
書くこと	270 点	約 25 分	筆記	記述式

※実施方法に関する補足

聞くこと … CD による一斉実施方式。

話すこと … タブレット（一人一台）による録音方式。

②出題範囲と割合

タイプ	出題範囲	出題割合
Basic	義務教育範囲	約 1 割
	コミュニケーション英語Ⅰ、英語表現Ⅰ	約 8～9 割
	コミュニケーション英語Ⅱ、英語表現Ⅱ	約 1～2 割

※出題語彙・文法 … 中学～高校 1 年前半の範囲の語彙・文法レベル

※出題割合に関する補足

「聞くこと」Part Dにおいては、コミュニケーション英語Ⅱのみで扱われる「事物に関する報告の内容を理解する」ことに相当する出題があり、「読むこと」Part Cにおいては、コミュニケーション英語Ⅱのみで扱われる「書き手の意見が述べられることが増える評論について、目的に応じた読み方をする」ことに相当する出題があります。また、「話すこと」Part Dと「書くこと」Part Bにおいては、社会的なテーマについて、論理的に話したり、自分の意見をまとまりのある

文章で書いたりする必要性があることから、コミュニケーション英語Ⅱや英語表現Ⅱに相当する出題です。一方で、出題語彙・文法は、中学～高校1年前半の範囲の語彙・文法レベルであることから、必履修範囲の割合を約8～9割、それ以外を約1～2割としています。

(3) 難易度設定の考え方・方法

GTECにはCore、Basic、Advancedという3つの難易度別の問題タイプがあり、中学生および高校生の英語力を測るのに適した難易度設定になっています。目安受検学年は、Basicでは中学校3年生～高校2年生となっています。また、CEFRではA1～B1まで測定可能なテストとなっています。いずれのテスト版においても、問題企画に沿って出題をしており、使用する語彙レベルや文法レベルなども出題企画に沿って作問されます。加えて、1問1問の難易度は事前に被験者を集めて分析したデータをもとに設定されており、その分析結果をもとに項目応答理論（IRT）という手法を用いてスコア化しています。

(4) 基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- ・実際の言語使用場面を前提とし、英語コミュニケーション能力を測定することを目的としたスコア型4技能検定です。授業で学んだ英語を「実際に使う」手ごたえを感じられる、日本の中高生に適した出題です。自分が登場人物になったつもりで取り組める問題も出題されており、受検そのものが英語を使った生活体験に感じられるように工夫しています。
- ・受検後、約1か月半で受検者に製本された紙媒体のスコアレポート（個人成績票）を学校経由でお届けします。項目応答理論（IRT）を利用して、技能ごとの絶対評価によるスコアを受検者にはお返ししますので、受検者はスコアの推移で英語力の伸びを実感できるようになっています。
- ・スコアレポートには、受検者一人ひとりに対し、各技能を伸ばしていくために日々の学習で何をすべきかのアドバイスや、付属教材「スキルUPワーク」の具体的な学習ページも示されています。また、受検者の書いたWriting答案に添削を入れた画像も含まれており、観点別に採点された結果に加え、採点者からのメッセージも付けてお返しします。

Ⅱ. 結果提供に関すること

(1) 受検者個人への結果提供内容・方法

- ・受検者には下記の項目をフィードバックとして提出します。
 - ⑯ 受検月
 - ⑰ 各技能 及び Total のスコア
 - ⑱ 各技能 及び Total のグレード
 - ⑲ 各技能 及び Total の校内平均スコア
 - ⑳ 各技能 及び Total の校内順位
 - 21 リーディングのWPM (words per minute)
 - 22 各技能 及び Total のCan Doメッセージ
 - 23 各技能 及び Total の成績推移
 - 24 問題Part別の全国平均正解率・校内平均正解率・受検者平均正解率
(リーディング・リスニング)
 - 25 小問単位での受検者の解答と正誤 (リーディング・リスニング)
 - 26 採点観点別の受検者の素点 (ライティング・スピーキング)
 - 27 学習アドバイス
 - 28 付属教材「スキルUPワーク」の取り組みページ
 - 29 受検者の書いたWriting答案 (添削有り)
 - 30 Writing答案に対する採点者からのメッセージ

- ・受検後、約1か月半で受検者に、技能ごとのスコアやグレード等が掲載されている、製本された紙媒体のスコアレポート（個人成績票）を学校経由でお届けします。

(2)学校等への結果提供内容・方法

- ・学校には下記の項目をフィードバックとしてお返しいたします。
 - ⑰ 実施月
 - ⑱ 各技能 及び Total の全国 及び 校内平均スコア（過年度 及び 過回の結果を含む）
 - ⑲ 各技能 及び Total の校内平均 グレード
 - ⑳ リーディングの全国 及び 校内平均 WPM (words per minute)
 - 21 各技能 及び Total の校内平均スコア推移
 - 22 各技能 及び Total のスコア成績分布（過年度 及び 過回の結果を含む）
 - 23 各技能の指導アドバイス
 - 24 問題 Part 別・設問別の全国平均正解率・校内平均正解率（リーディング・リスニング）
 - 25 問題 Part 別 当該校注目問題（リーディング・リスニング）
 - 26 設問別正解率一覧（リーディング・リスニング）
 - 27 採点観点別の素点分布（ライティング・スピーキング）
 - 28 問題ごとに高得点者1名・平均得点者1名のライティング答案例
 - 29 クラス別成績一覧
 - 30 各技能の成績トップ20・前回からの成績推移トップ20
 - 31 個人成績一覧（Total スコアの降順）
 - 32 Writing 答案に対する採点者からのメッセージ
- ・受検後、約1か月半で学校に製本された紙媒体の団体帳票をお届けします。技能ごとに詳細なフィードバックをお返しします。学校が設定した到達目標に達することができたかどうかを検証し、校内の指導改善に活かすことができます。
- ・受検者全員の「個人成績一覧」・「ライティング答案（PDF ファイル形式）」 及び 成績上位者・中位者の「スピーキング解答音声データ」を Web 経由にて提供します。
- ・学校からの要望に応じ、弊社担当者による受検結果報告会を実施します。

(3)試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

GTEC のスコアは「IRT (Item Response Theory)」という統計手法で算出されています。IRT で算出されたスコアは同一尺度上に表現されるためスコアを直接比較することが可能なので、問題タイプ間の比較 (Core、Basic、Advanced) や過去受検回との比較をすることができます。また、各技能のスコアに応じて can-do statements が設定されており、さらに CEFR (Common European Framework of Reference for Languages : ヨーロッパ言語共通参照枠) レベルではどのレベルになるかの対照表をもとに、該当 CEFR レベルを併せて返却しています。

※GTEC では Council of Europe が公表している手法に基づき CEFR との対応関係を検証しています。その検証において、「読むこと」「聞くこと」「書くこと」「話すこと」の各 CEFR レベルにおける閾値スコアを判定しているため、技能ごとに CEFR レベルとの対応関係を確認することが可能です。また、スコア型の検定として各技能の閾値スコアを加算し、4 技能総合の閾値スコアも示しています。

Ⅲ. 運営に関すること

(1) 問題の質を確保するための方法

①信頼性について

事前のフィールドテストで得られた項目パラメータ（識別力、困難度）を用い、各テスト版について、テスト特性曲線、テスト情報量、条件付き測定標準誤差を計算します。これらの値は統計的仕様で定められた基準値と比較され、不十分であれば問題の差し替え等の対応を行います。このプロセスを通じて、各テスト版の測定精度が十分高くなるように管理しています。

②妥当性の研究・検証結果等

GTEC については、これまで下記の妥当性研究をしています。

- ・ GTEC スコアと CEFR レベル関連付け調査報告(2017)
http://cees.or.jp/pdf/reports/2017/Standard_Setting_Report.pdf

③作問体制、第三者評価(外部有識者を含む)、検証方法等

作問時に第三者（外部有識者を含む）を交えた審査会を実施しています。また、全国検定振興機構に加盟をしており、今後は当機構による第三者評価を予定しています。

- ・ 作問体制：作問は海外の作問会社で執筆、社内での確認（1版あたり、10名程度）、第三者評価（7名程度）で行います。
- ・ 検証方法：実施結果を踏まえ、版全体としての、テスト特性曲線、テスト情報量、1問毎の項目特性（識別力、困難度）の確認を行います。その結果は作問関連者に共有し、それ以降の作問に活かすこととしています。

(2) 学校における実施方法(アセスメントとしての GTEC を受検いただく場合の実施方法)

- ・ 「実施の手引き」を送り、手引きを参考にして先生に実施いただきます。技能毎に別日受検もできます。
- ・ リーディング・リスニング・ライティングの3技能は、CDを流したままで試験を進める形式のため、基本的に試験中は先生が指示を出す必要はありません。CDから日本語ナレーションが流れ、解答時間もCDで進行管理します。主に先生に行っていただくことは、①問題冊子や解答用紙等の配布・回収 ②CDの再生 ③試験時間中の監督 です。
- ・ スピーキングは、弊社よりタブレットを貸し出し（最大5営業日）、音声を読み込んでご返送いただく形で実施します。「試験監督先生用マニュアル」の台本にしたがって先生に指示を出していただき、テスト開始後はアプリで自動的に進行します。スピーキングの実施にネットワーク環境は必要ありませんので、教室でそのまま実施いただけます。主に先生に行っていただくことは、①タブレットやイヤホン等の配布・回収 ②進行に関する説明 ③試験時間中の監督 です。
- ・ 実施まわりについて不明点などあれば、お客様サービスセンター（電話窓口）で承ります（受付時間／月～金 8:00～19:00 土 8:00～17:00 祝日、年末・年始を除く）。なお、日曜日は受付することができません。
- ・ 欠席者などへの対応について、後日実施が可能です。ただしスピーキングのタブレットの貸出期間は最大5営業日で延長ができませんので、その期間中での実施をお願いします。

※検定としての GTEC を受検いただく場合の実施方法については、現在検討中です。

(3)採点の方法と体制

①採点の仕組み

- ・年間を通して英語アセスメントの採点業務を行っている海外の拠点にて採点を実施しています。
- ・採点会場に採点者を集め、システムを使用し安全な情報管理のもと採点業務を遂行しています。

②採点者の採用・研修、品質チェック

- ・採用試験

英語能力試験及び面接を実施し、一定の基準を満たした者を採用しています。

- ・初期研修

所定の研修プログラムに沿ってトレーニングを実施しています。

業務の理解度が十分であると判断された後、事前研修に参加させます。

- ・事前研修

初期研修後、実際の採点を想定した事前研修を実施しています。

事前研修の修了テストで合格した者のみが採点業務に従事しています。

- ・品質チェック

採点中は採点監督者による品質チェックを実施しています。

結果に応じて採点者を個別に指導し、改善が見られない場合には当該採点者による採点を中止させます。

③採点方法

- ・すべての解答は、複数名の採点者で採点しています。
- ・2名の採点者が同じ解答をそれぞれに採点し、2名の採点結果が異なる場合、システムで対象解答を抽出します。
- ・抽出された対象解答については、採点監督者が最終採点結果を確定します。

(4)情報管理体制

セキュリティ

- ・ベネッセは、ISO27001（情報セキュリティマネジメント）、JISQ15001（Pマーク）の認定を取得しています。各規格の要求事項を踏まえ、業務の構築・運用設計を行い、機密情報や個人情報に関する破損・紛失・漏えいリスクの低減や回避を図ります。

全体では、以下の観点でセキュリティ施策を実施します。

観点	概要
A. 人に関する施策	(1)ベネッセグループのセキュリティ規程研修の実施 (2)機密(個人)情報取り扱い各種ルール遵守
B. 場所に関する施策	(1)ゾーニング施策によるセキュリティ水準確保 ①関係者以外の侵入防止と入退出管理・履歴取得 ②災害対策 ③情報隔離・持ち出し防止 ④保管・廃棄時の安全性確保 (2)拠点の設備・運用の安全性の確認
C. 工程に関する施策	(1)各工程で個別に配慮すべき施策内容・留意事項の確認 ①情報の取得(生成)時 ②情報の利用時 ③情報保管期間内 ④情報の移送(送信)時 ⑤情報の廃棄(消去)時
D. 電子的情報に関する施策	ベネッセセキュリティ基準に準じ、使用する情報機器のセキュリティ対策
E. 業務システムに関する施策	ベネッセのセキュリティ基準に則りセキュリティ施策を実施

緊急事態や不測の事態への対応

- ・緊急事態や不測の事態へ対応するため、発生時の報告・連絡・相談体制をあらかじめ構築します。
- ・事故・障害発生時に備えて、あらかじめ担当メンバーの緊急連絡網を作成し、重大事案発生時には速やかに事業推進責任者に報告を行い、対応の判断・指示をすることで、的確かつ迅速に対応し、影響を最小限に抑える体制を準備します。

※「Ⅲ. 運営に関すること」に関する上記の内容は、2018年11月末時点の情報です。

IV. 情報開示に関すること

(1) 障害のある受検者等への配慮

区分	対象となる者	配慮する事項
視覚に関する配慮事項	①点字教育を受けている者 ②弱視者（障害程度等級が6級程度） ③上記以外の視覚障害者で、学校側で配慮が必要と判断した者	①点字教育を受けている者 ■問題冊子・解答方法 「読む」「聞く」「書く」 - 点字問題冊子・点字解答用紙 「話す」 - 点字問題冊子・タブレット端末（解答録音用） ■試験時間 「読む」・通常の約3倍に延長 「聞く」・通常の約1.5倍に延長 「書く」・通常の1.5倍に延長 「話す」・延長対応（何倍にするかは現在調査中） ②弱視者（障害程度等級が6級程度） ■問題冊子・解答方法 「読む」「聞く」「書く」 - 文字拡大の問題冊子と通常問題冊子 - 問題冊子の解答番号にチェックする解答 「話す」 - 文字拡大の問題冊子・タブレット端末（通常版） ■試験時間 「読む」 （希望に応じて）通常の1.5倍に延長 「聞く」「書く」「話す」 - 通常実施 ③上記以外の視覚障害者 ■問題冊子・解答方法 「読む」「聞く」「書く」 - 問題冊子の解答番号にチェックする解答 - そのほかは通常実施 「話す」 - 通常実施

聴覚に関する配慮事項	①聾者・重度難聴者 ②中・軽度難聴者	①聾者・重度難聴者 ■問題冊子・解答方法 「読む」「書く」 ・通常実施 「聞く」 ・スクリプトのご提供 「話す」 ＜口話にも障害がある受検者＞ ・スピーキング免除（非受検のご案内） ＜口話に障害がほとんどない受検者＞ ・通常実施（一部のパートについて問題カードを提供） ・採点拠点へ該当受検者の情報を連携 ②中・軽度難聴者 ■問題冊子・解答方法 「読む」「書く」 ・通常実施 「聞く」 ・強音放送、ヘッドセットの装用を許可した上で通常実施 「話す」 ・補聴器や人工内耳の装用を許可した上で通常実施
------------	-----------------------	--

※別室での受検が必要な場合は、学校にて準備をしていただきます。

※「問題冊子の解答番号にチェックする解答」を選択いただいた場合、マークシートへの転記は学校の先生にお願いしています。

(2) 事前／事後学習教材の有無、内容

①事前学習教材:教師用ガイドセット(無料)

初めて GTEC を受検する生徒が、GTEC 独特の出題形式になれることができる、一斉指導用の教材を先生にお渡ししています。「トライアルテスト」「『情報検索』問題集」「『表現力を育む』演習冊子」が含まれており、GTEC 受検前の事前準備として活用可能です。

トライアルテスト	GTEC と同様の出題形式の練習問題となっています。生徒が本番で実力を発揮できるよう、GTEC 受検前に授業時間 40 分ほどを使ってトライアルテストを実施し、出題形式に慣れさせることが可能です。
「情報検索」問題集	GTEC Reading Part B の出題形式に対応した、英文の広告などを読み取る情報検索型の問題集です。短時間で必要な情報のみを引き出すスキミング力を育成する問題内容となっています。計 18 題掲載しており、朝学習の時間などにも活用可能となっています。
「自分の意見を伝える」演習冊子 ※リニューアルのため 名称未確定	英語によるアウトプット活動の取り組み方を示した演習冊子です。表現活動に入る前のブレインストーミングの活動などの説明も含まれており、段階的な演習を授業冒頭 15 分ほどで実施することが可能です。

②事後学習教材:スキル UP ワーク(無料)

事後学習教材として、生徒一人ひとりにスキル UP ワークを配付しています。また、「話すこと」については Web 上で学習をすることができます。

スキル UP ワーク (聞くこと、読むこと、 書くこと)	リスニング・リーディング・ライティングの 3 技能について、自分の CEFR に対応した学習ページに取り組むことで、効果的な学習ができる付属学習教材です。個人成績票を見て気づいた自分の英語力の強み・弱みに合わせて、技能ごとに学習に取り組むことができます。
スキル UP ワーク (話すこと)	2019 年より、スピーキングについては、Web 上で事後学習ができる付属学習教材が追加されます。個人成績票を見て気づいた自分の英語力の強み・弱みに合わせて、学習に取り組むことができます。

※いずれの技能についても、以下のような構成で学習を促進しています。

- ・スキルトレーニング：CEFR ごとにスラッシュリーディングや要約など、多様な学習法で各技能を学ぶことができます。自分の CEFR と、一つ上のレベルの CEFR に合わせて取り組むことで、CEFR に応じた英語力を伸ばすことができます。
- ・スキルプラクティス：スキルトレーニングに取り組んだ後の実践練習問題。GTEC と同じ形式の練習問題で、スキルトレーニングの取り組みの成果を確認できます。

(3)学習状況等のアンケートの有無、内容

学習状況等のアンケートは特に実施していません。

(4)個人受検の可否

個人受検いただくことはできません。

(5)問題内容の情報提供

問題の一部を Web サイトに公開しています。また、学校からご要望をいただいた場合は、見本として渡しているテスト冊子（各タイプ 1 セット）があります。

(6)その他

- ・教育委員会等への情報提供に係る対応として、学校から教育委員会等への情報提供の元となる書式・集計結果を提供します。前提として、教育委員会等への情報提供は、弊社から直接は行えません。但し教育委員会主催の場合はこの限りではありません。

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:GTEC Core タイプ

対象教科:英語

測定内容の区分:基本タイプ

I. 出題に関すること

(1)出題の基本方針

①主な対象者

中学校1年生～高校1年生

②測定しようとする資質・能力

＜全タイプ共通＞

「聞くこと」に関する資質・能力、「読むこと」に関する資質・能力、「話すこと」に関する資質・能力、「書くこと」に関する資質・能力。

③出題範囲

タイプ	出題範囲
Core	義務教育範囲、コミュニケーション英語Ⅰ、英語表現Ⅰ

④出題方針

実際の言語使用場面を前提とし、英語コミュニケーション能力を測定することを目的としたスコア型4技能検定です。授業で学んだ英語を「実際に使う」手ごたえを感じられる、日本の中高生に適した出題です。自分が登場人物になったつもりで取り組める問題も出題されており、受検そのものが英語を使った生活体験に感じられるように工夫しています。

※「知識・技能」を問う問題 … 視覚的情報をもとに、状況や場面、事物を描写説明した短文を聞き分ける力や短文の文脈を理解するとともに、語彙選択上最も適切な表現を正確に判断する力を問う問題を出題します。

※「思考力・判断力・表現力」を問う問題 … その場で求められている課題(タスク)を解決する力、全体の概要を理解する力などを問うとともに、相手に伝わるように状況を説明する力や与えられた話題について、限られた時間の中で自分の意見を説得力を持って表現する力を問う問題など、発信技能に関する出題も充実しています。

⑤出題構成と学習指導要領との対応

GTECは学習指導要領に則ったテストです。各タイプの学習指導要領との対応関係は以下の通りで、各出題に対応している学習指導要領の科目・項目を「※」で示しています。

- ・必履修範囲外のコミュニケーション英語Ⅱ、英語表現Ⅱに力点が置かれている場合は、下線を引いています。
- ・2019年度より、「書くこと」の出題において、与えられたEメールで問われる内容について、限られた時間の中で適切な回答を表現する力を問う、「Eメール」問題を追加します。

Core (義務教育範囲も含む)

Listening/聞くこと	Reading/読むこと	Speaking/話すこと	Writing/書くこと
A イラスト説明 8 問 (写真など与えられた視覚的情報をもとに、状況や場面、事物を描写説明した短文を聞き分ける力) ※コミュニケーション英語 I (1) ア (2) ア ※義務教育範囲(1) 言語活動 ア 聞くこと (ア)(イ)	A 短文文脈理解 10 問 (短文の文脈を理解するとともに、語彙選択上最も適切な表現を正確に判断する力) ※コミュニケーション英語 I (2) イ ※義務教育範囲(1) 言語活動 ウ 読むこと (ア)(イ)(ウ)	A 音読 2 問 (英文を読み上げる形式の出題で、状況や英文を理解した上で、正確な発音で音読する力) ※コミュニケーション英語 I (2) ア ※英語表現 I (2) ア ※義務教育範囲(1) 言語活動 イ 話すこと (ア)	A E メール 1 問 (与えられた E メールで問われる内容について、限られた時間の中で適切な回答を表現する力) ※コミュニケーション英語 I (1) エ (2) イ ※英語表現 I (1) イ (2) イ ※義務教育範囲(1) 言語活動 エ 書くこと (ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)
B 会話応答 8 問 (事前予測ができる情報がない中で、不意の質問に対する適当な応答を素早く判断し処理する力) ※コミュニケーション英語 I (2) ア ※義務教育範囲(1) 言語活動 ア 聞くこと (イ)(ウ)	B-1 情報検索 8 問 (与えられた英文の題材について、短時間で必要な情報を引き出す力) ※コミュニケーション英語 I (1) イ ※コミュニケーション英語 I (2) イ ※義務教育範囲(1) 言語活動 ウ 読むこと (ウ)	B 質問応答 4 問 (図示された情報を読み取り、それに関する質問を聞き取った上で、適切に応答する力) ※コミュニケーション英語 I (1) ウ ※義務教育範囲(1) 言語活動 イ 話すこと (イ)(ウ)	B 意見展開(Essay) 1 問 (与えられた日常的な話題について、限られた時間の中で自分の意見を説得力を持って表現する力) ※コミュニケーション英語 I (1) エ (2) イ ※英語表現 I (1) イ (2) イ ※義務教育範囲(1) 言語活動 エ 書くこと (ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)
C 課題解決 8 問 [事前に与えられる視覚情報と音声情報から、その場で求められている課題(タスク)を解決する力] ※コミュニケーション英語 I (1) ア (2) ア ※義務教育範囲(1) 言語活動 ア 聞くこと (オ)	B-2 概要把握 2 問 (与えられた英文の題材について、短時間で全体の概要を理解する力) ※コミュニケーション英語 I (1) イ ※コミュニケーション英語 I (2) イ ※義務教育範囲(1) 言語活動 ウ 読むこと (ウ)	C ストーリー説明 1 問 (日常的な出来事について、話の流れを踏まえて相手に伝わるように状況を説明する力) ※コミュニケーション英語 I (1) ウ ※英語表現 I (1) アウ (2) ウ ※義務教育範囲(1) 言語活動 イ 話すこと (ア)(イ)(エ)	

D 要点理解 8 問 (一定以上の長さの英文を聞き、事前に与えられる英語の質問に答えるため必要な情報を選択、適切な判断をする力) ※コミュニケーション英語 I (1) ア (2) ア ※義務教育範囲(1) 言語活動 ア 聞くこと (オ)	C 要点理解 8 問 (多めの英文について、趣旨に関する内容や詳細部分の要点を理解し、必要な情報を読み取る力) ※コミュニケーション英語 I (1) イ ※コミュニケーション英語 I (2) イ ※義務教育範囲(1) 言語活動 ウ 読むこと (ウ)	D 意見陳述 1 問 (身近なテーマに対して、自分の意見とその意見をサポートする理由を言う力) ※コミュニケーション英語 I (2) アウ ※英語表現 I (1) アウ (2) アウエ ※義務教育範囲(1) 言語活動 イ 話すこと (ア)(イ)(エ)(オ)	
---	---	---	--

⑥出題形式(詳細は「(2)構成等」に記載)

<全タイプ共通>

- ・聞くこと … 選択式
- ・読むこと … 選択式
- ・話すこと … 録音式
- ・書くこと … 記述式

⑦難易度

CEFR では A1～A2 まで測定可能なテストとなっています。

(2)構成等

①出題形式

Core

	配点	試験時間	実施方法	出題形式
聞くこと	210 点	約 20 分	筆記	選択式
読むこと	210 点	約 32 分	筆記	選択式
話すこと	210 点	約 25 分	タブレット	録音式
書くこと	210 点	約 25 分	筆記	記述式

※実施方法に関する補足

聞くこと … CD による一斉実施方式。

話すこと … タブレット (1 人 1 台) による録音方式。

②出題範囲と割合

タイプ	出題範囲	出題割合
Core	義務教育範囲、コミュニケーション英語 I、英語表現 I	10 割

※出題語彙・文法 … 中学の学習指導要領の範囲の語彙・文法レベル

※出題割合に関する補足

問題を解く上で必要となる語彙・文法は中学校指導要領の範囲となりますので、中学校の生徒でも受検可能なテストとなっております。一方で、コミュニケーション英語 I や英語表現 I で重視されている「聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりすることや、簡潔に書くこと」などの統合的な活動

や「論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える」などの発信活動の成果を測定する目的で、Core タイプを受検いただき、成績の伸長を把握していただくことも可能です。

(3) 難易度設定の考え方・方法

GTEC には Core、Basic、Advanced という 3 つの難易度別の問題タイプがあり、中学生および高校生の英語力を測るのに適した難易度設定になっています。目安受検学年は、Core は中学校 1 年生～高校 1 年生となっています。また、CEFR では A1～A2 まで測定可能なテストとなっています。いずれのテスト版においても、問題企画に沿って出題をしており、使用する語彙レベルや文法レベルなども出題企画に沿って作問されます。加えて、1 問 1 問の難易度は事前に被験者を集めて分析したデータをもとに設定されており、その分析結果をもとに項目応答理論（IRT）という手法を用いてスコア化しています。

(4) 基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- ・実際の言語使用場面を前提とし、英語コミュニケーション能力を測定することを目的としたスコア型 4 技能検定です。授業で学んだ英語を「実際に使う」手ごたえを感じられる、日本の中高生に適した出題です。自分が登場人物になったつもりで取り組める問題も出題されており、受検そのものが英語を使った生活体験に感じられるように工夫しています。
- ・受検後、約 1 か月半で受検者に製本された紙媒体のスコアレポート（個人成績票）を学校経由でお届けします。項目応答理論（IRT）を利用して、技能ごとの絶対評価によるスコアを受検者にはお返ししますので、受検者はスコアの推移で英語力の伸びを実感できるようになっています。
- ・スコアレポートには、受検者 1 人ひとりに対し、各技能を伸ばしていくために日々の学習で何をすべきかのアドバイスや、付属教材「スキル UP ワーク」の具体的な学習ページも示されています。また、受検者の書いた Writing 答案に添削を入れた画像も含まれており、観点別に採点された結果に加え、採点者からのメッセージも付けてお返しします。

Ⅱ. 結果提供に関すること

(1) 受検者個人への結果提供内容・方法

- ・受検者には下記の項目をフィードバックとして提出いたします。
 - 31 受検月
 - 32 各技能 及び Total のスコア
 - 33 各技能 及び Total のグレード
 - 34 各技能 及び Total の校内平均スコア
 - 35 各技能 及び Total の校内順位
 - 36 リーディングの WPM (words per minute)
 - 37 各技能 及び Total の Can Do メッセージ
 - 38 各技能 及び Total の成績推移
 - 39 問題 Part 別の全国平均正解率・校内平均正解率・受検者平均正解率
(リーディング・リスニング)
 - 40 小問単位での受検者の解答と正誤 (リーディング・リスニング)
 - 41 採点観点別の受検者の素点 (ライティング・スピーキング)
 - 42 学習アドバイス
 - 43 付属教材「スキル UP ワーク」の取り組みページ
 - 44 受検者の書いた Writing 答案 (添削有り)
 - 45 Writing 答案に対する採点者からのメッセージ

- ・受検後、約1か月半で受検者に、技能ごとのスコアやグレード等が掲載されている、製本された紙媒体のスコアレポート（個人成績票）を学校経由でお届けします。

(2) 学校等への結果提供内容・方法

- ・学校には下記の項目をフィードバックとしてお返しします。
 - 33 実施月
 - 34 各技能 及び Total の全国 及び 校内平均スコア（過年度 及び 過回の結果を含む）
 - 35 各技能 及び Total の校内平均 グレード
 - 36 リーディングの全国 及び 校内平均 WPM (words per minute)
 - 37 各技能 及び Total の校内平均スコア推移
 - 38 各技能 及び Total のスコア成績分布（過年度 及び 過回の結果を含む）
 - 39 各技能の指導アドバイス
 - 40 問題 Part 別・設問別の全国平均正解率・校内平均正解率（リーディング・リスニング）
 - 41 問題 Part 別 当該校注目問題（リーディング・リスニング）
 - 42 設問別正解率一覧（リーディング・リスニング）
 - 43 採点観点別の素点分布（ライティング・スピーキング）
 - 44 問題ごとに高得点者1名・平均得点者1名のライティング答案例
 - 45 クラス別成績一覧
 - 46 各技能の成績トップ20・前回からの成績推移トップ20
 - 47 個人成績一覧（Total スコアの降順）
 - 48 Writing 答案に対する採点者からのメッセージ
- ・受検後、約1か月半で学校に製本された紙媒体の団体帳票をお届けします。技能ごとに詳細なフィードバックをお返ししますので、学校が設定した到達目標に達することができたかどうかを検証し、校内の指導改善に活かすことができます。
- ・受検者全員の「個人成績一覧」・「ライティング答案（PDF ファイル形式）」 及び 成績上位者・中位者の「スピーキング解答音声データ」を Web 経由にて提供します。
- ・学校からの要望に応じ、弊社担当者による受検結果報告会を実施します。

(3) 試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

GTEC のスコアは「IRT (Item Response Theory)」という統計手法で算出されています。IRT で算出されたスコアは同一尺度上に表現されるためスコアを直接比較することが可能なので、問題タイプ間の比較 (Core、Basic、Advanced) や過去受検回との比較をすることができます。また、各技能のスコアに応じて can-do statements が設定されており、さらに CEFR (Common European Framework of Reference for Languages : ヨーロッパ言語共通参照枠) レベルではどのレベルになるかの対照表をもとに、該当 CEFR レベルを併せて返却しています。

※GTEC では Council of Europe が公表している手法に基づき CEFR との対応関係を検証しています。その検証において、「読むこと」「聞くこと」「書くこと」「話すこと」の各 CEFR レベルにおける閾値スコアを判定しているため、技能ごとに CEFR レベルとの対応関係を確認することが可能です。また、スコア型の検定として各技能の閾値スコアを加算し、4 技能総合の閾値スコアも示しています。

Ⅲ. 運営に関すること

(1) 問題の質を確保するための方法

①信頼性について

事前のフィールドテストで得られた項目パラメータ（識別力、困難度）を用い、各テスト版について、テスト特性曲線、テスト情報量、条件付き測定標準誤差を計算します。これらの値は統計的仕様で定められた基準値と比較され、不十分であれば問題の差し替え等の対応を行います。このプロセスを通じて、各テスト版の測定精度が十分高くなるように管理しています。

②妥当性の研究・検証結果等

GTEC については、これまで下記の妥当性研究をしています。

- ・ GTEC スコアと CEFR レベル関連付け調査報告(2017)
http://cees.or.jp/pdf/reports/2017/Standard_Setting_Report.pdf

③作問体制、第三者評価(外部有識者を含む)、検証方法等

作問時に第三者（外部有識者を含む）を交えた審査会を実施しています。また、全国検定振興機構に加盟をしており、今後は当機構による第三者評価を予定しています。

- ・ 作問体制：作問は海外の作問会社で執筆、社内での確認（1 版あたり、10 名程度）、第三者評価（7 名程度）で行います。
- ・ 検証方法：実施結果を踏まえ、版全体としての、テスト特性曲線、テスト情報量、1 問毎の項目特性（識別力、困難度）の確認を行います。その結果は作問関連者に共有し、それ以降の作問に活かすこととしています。

(2) 学校における実施方法(アセスメントとしての GTEC を受検いただく場合の実施方法)

- ・ 「実施の手引き」を送り、手引きを参考にして先生に実施いただきます。技能毎に別日受検もできます。
- ・ リーディング・リスニング・ライティングの 3 技能は、CD を流したまま試験を進める形式のため、基本的に試験中は先生が指示を出す必要はありません。CD から日本語ナレーションが流れ、解答時間も CD で進行管理します。主に先生に行っていただくことは、①問題冊子や解答用紙等の配布・回収 ②CD の再生 ③試験時間中の監督 です。
- ・ スピーキングは、弊社よりタブレットを貸し出し（最大 5 営業日）、音声を読み込んでご返送いただく形で実施します。「試験監督先生用マニュアル」の台本にしたがって先生に指示を出していただき、テスト開始後はアプリで自動的に進行します。スピーキングの実施にネットワーク環境は必要ありませんので、教室でそのまま実施いただけます。主に先生に行っていただくことは、①タブレットやイヤホン等の配布・回収 ②進行に関する説明 ③試験時間中の監督です。
- ・ 実施まわりについて不明点などあれば、お客様サービスセンター（電話窓口）で承ります（受付時間／月～金 8:00～19:00 土 8:00～17:00 祝日、年末・年始を除く）。なお、日曜日は受付することができません。
- ・ 欠席者などへの対応について、後日実施が可能です。ただしスピーキングのタブレットの貸出期間は最大 5 営業日で延長ができませんので、その期間中での実施をお願いします。

※検定としての GTEC を受検いただく場合の実施方法については、現在検討中です。

(3) 採点の方法と体制

①採点の仕組み

- ・ 年間を通して英語アセスメントの採点業務を行っている海外の拠点にて採点を実施しています。

- ・採点会場に採点者を集め、システムを使用し安全な情報管理のもと採点業務を遂行しています。

②採点者の採用・研修、品質チェック

- ・採用試験

英語能力試験及び面接を実施し、一定の基準を満たした者を採用しています。

- ・初期研修

所定の研修プログラムに沿ってトレーニングを実施しています。

業務の理解度が十分であると判断された後、事前研修に参加させます。

- ・事前研修

初期研修後、実際の採点を想定した事前研修を実施しています。

事前研修の修了テストで合格した者のみが採点業務に従事しています。

- ・品質チェック

採点中は採点監督者による品質チェックを実施しています。

結果に応じて採点者を個別に指導し、改善が見られない場合には当該採点者による採点を中止させます。

③採点方法

- ・すべての解答は、複数名の採点者で採点しています。

・2名の採点者が同じ解答をそれぞれに採点し、2名の採点結果が異なる場合、システムで対象解答を抽出します。

- ・抽出された対象解答については、採点監督者が最終採点結果を確定します。

(4)情報管理体制

セキュリティ

- ・ベネッセは、ISO27001（情報セキュリティマネジメント）、JISQ15001（Pマーク）の認定を取得しています。各規格の要求事項を踏まえ、業務の構築・運用設計を行い、機密情報や個人情報に関する破損・紛失・漏えいリスクの低減や回避を図ります。

全体では、以下の観点でセキュリティ施策を実施します。

観点	概要
A. 人に関する施策	(1)ベネッセグループのセキュリティ規程研修の実施 (2)機密(個人)情報取り扱い各種ルール遵守
B. 場所に関する施策	(1)ゾーニング施策によるセキュリティ水準確保 ①関係者以外の侵入防止と入退出管理・履歴取得 ②災害対策 ③情報隔離・持ち出し防止 ④保管・廃棄時の安全性確保 (2)拠点の設備・運用の安全性の確認
C. 工程に関する施策	(1)各工程で個別に配慮すべき施策内容・留意事項の確認 ①情報の取得(生成)時 ②情報の利用時 ③情報保管期間内 ④情報の移送(送信)時 ⑤情報の廃棄(消去)時
D. 電子的情報に関する施策	ベネッセセキュリティ基準に準じ、使用する情報機器のセキュリティ対策
E. 業務システムに関する施策	ベネッセのセキュリティ基準に則りセキュリティ施策を実施

緊急事態や不測の事態への対応

- ・緊急事態や不測の事態へ対応するため、発生時の報告・連絡・相談体制をあらかじめ構築します。
- ・事故・障害発生時に備えて、あらかじめ担当メンバーの緊急連絡網を作成し、重大事案発生時には速やかに事業推進責任者に報告を行い、対応の判断・指示をすることで、的確かつ迅速に対応し、影響を最小限に抑える体制を準備します。

※「Ⅲ. 運営に関すること」に関する上記の内容は、2018年11月末時点の情報です。

IV. 情報開示に関すること

(1) 障害のある受検者等への配慮

区分	対象となる者	配慮する事項
視覚に関する配慮事項	①点字教育を受けている者 ②弱視者(障害程度等級が6級程度) ③上記以外の視覚障害者で、学校側で配慮が必要と判断した者	①点字教育を受けている者 ■問題冊子・解答方法 「読む」「聞く」「書く」 ・点字問題冊子・点字解答用紙 「話す」 ・点字問題冊子・タブレット端末（解答録音用） ■試験時間 「読む」・通常の約3倍に延長 「聞く」・通常の約1.5倍に延長 「書く」・通常の1.5倍に延長 「話す」・延長対応（何倍にするかは現在調査中） ②弱視者（障害程度等級が6級程度） ■問題冊子・解答方法 「読む」「聞く」「書く」 ・文字拡大の問題冊子と通常問題冊子 ・問題冊子の解答番号にチェックする解答 「話す」 ・文字拡大の問題冊子・タブレット端末（通常版） ■試験時間 「読む」 ・（希望に応じて）通常の1.5倍に延長 「聞く」「書く」「話す」 ・通常実施 ③上記以外の視覚障害者 ■問題冊子・解答方法 「読む」「聞く」「書く」 ・問題冊子の解答番号にチェックする解答 ・そのほかは通常実施 「話す」 ・通常実施

聴覚に関する配慮事項	①聾者・重度難聴者 ②中・軽度難聴者	①聾者・重度難聴者 ■問題冊子・解答方法 「読む」「書く」 ・通常実施 「聞く」 ・スクリプトのご提供 「話す」 ＜口話にも障害がある受検者＞ ・スピーキング免除（非受検のご案内） ＜口話に障害がほとんどない受検者＞ ・通常実施（一部のパートについて問題カードを提供） ・採点拠点へ該当受検者の情報を連携 ②中・軽度難聴者 ■問題冊子・解答方法 「読む」「書く」 ・通常実施 「聞く」 ・強音放送、ヘッドセットの装用を許可した上で通常実施 「話す」 ・補聴器や人工内耳の装用を許可した上で通常実施
------------	-----------------------	---

※別室での受検が必要な場合は、学校にて準備をしていただきます。

※「問題冊子の解答番号にチェックする解答」を選択いただいた場合、マークシートへの転記は学校の先生にお願いしています。

(2) 事前／事後学習教材の有無、内容

①事前学習教材:教師用ガイドセット(無料)

初めて GTEC を受検する生徒が、GTEC 独特の出題形式になれることができる、一斉指導用の教材を先生にお渡ししています。「トライアルテスト」「『情報検索』問題集」「『表現力を育む』演習冊子」が含まれており、GTEC 受検前の事前準備として活用可能です。

トライアルテスト	GTEC と同様の出題形式の練習問題となっています。生徒が本番で実力を発揮できるよう、GTEC 受検前に授業時間 40 分ほどを使ってトライアルテストを実施し、出題形式に慣れさせることが可能です。
「情報検索」問題集	GTEC Reading Part B の出題形式に対応した、英文の広告などを読み取る情報検索型の問題集です。短時間で必要な情報のみを引き出すスキミング力を育成する問題内容となっています。計 18 題掲載しており、朝学習の時間などにも活用可能となっています。
「自分の意見を伝える」演習冊子 ※リニューアルのため 名称未確定	英語によるアウトプット活動の取り組み方を示した演習冊子です。表現活動に入る前のブレインストーミングの活動などの説明も含まれており、段階的な演習を授業冒頭 15 分ほどで実施することが可能です。

②事後学習教材:スキル UP ワーク(無料)

事後学習教材として、生徒一人ひとりにスキル UP ワークを配付しています。また、「話すこと」については Web 上で学習をすることができます。

スキル UP ワーク (聞くこと、読むこと、 書くこと)	リスニング・リーディング・ライティングの 3 技能について、自分の CEFR に対応した学習ページに取り組むことで、効果的な学習ができる付属学習教材です。個人成績票を見て気づいた自分の英語力の強み・弱みに合わせて、技能ごとに学習に取り組むことができます。
スキル UP ワーク (話すこと)	2019 年より、スピーキングについては、Web 上で事後学習ができる付属学習教材が追加されます。個人成績票を見て気づいた自分の英語力の強み・弱みに合わせて、学習に取り組むことができます。

※いずれの技能についても、以下のような構成で学習を促進しています。

- ・スキルトレーニング：CEFR ごとにスラッシュリーディングや要約など、多様な学習法で各技能を学ぶことができます。自分の CEFR と、一つ上のレベルの CEFR に合わせて取り組むことで、CEFR に応じた英語力を伸ばすことができます。
- ・スキルプラクティス：スキルトレーニングに取り組んだ後の実践練習問題。GTEC と同じ形式の練習問題で、スキルトレーニングの取り組みの成果を確認できます。

(3)学習状況等のアンケートの有無、内容

学習状況等のアンケートは特に実施していません。

(4)個人受検の可否

個人受検いただくことはできません。

(5)問題内容の情報提供

問題の一部を Web サイトに公開しています。また、学校からご要望をいただいた場合は、見本として渡しているテスト冊子（各タイプ 1 セット）があります。

(6)その他

- ・教育委員会等への情報提供に係る対応として、学校から教育委員会等への情報提供の元となる書式・集計結果を提供します。前提として、教育委員会等への情報提供は、弊社から直接は行えません。但し教育委員会主催の場合はこの限りではありません。

(様式3)

認定要件への適合性を示す書類等一覧について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名:GTEC Advancedタイプ・Basicタイプ・Coreタイプ
対象教科:英語
測定内容の区分:標準／基本タイプ

I. 出題に関すること

＜提出任意の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号	対応する認定基準				
			I. (1)	I. (2)	I. (3)	I. (4)	I. (5)
学習指導要領との整合性	学習指導要領との整合性に関する補足資料	資料1	○				

II. 結果提供に関すること

＜提出任意の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号	対応する認定基準	
			II. (1)	II. (2)
生徒用帳票	生徒用帳票見本(3技能版) *19年度以降は4技能版にリニューアル予定	資料2	○	
	生徒用帳票見本(Speaking) *19年度以降は4技能版にリニューアル予定	資料8	○	
教師用帳票	教師用帳票見本(3技能版) *19年度以降は4技能版にリニューアル予定	資料3		○
	教師用帳票見本(Speaking) *19年度以降は4技能版にリニューアル予定	資料9		○

III. 運営に関すること

＜提出必須の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号
実施要項(試験時間、実施方式、実施期間、受検料、標準返却期間等)	実施のご案内	資料4
学校用実施マニュアル	GTEC 実施の手引き__3技能	資料5
	GTEC 実施の手引き__Speaking	資料6

＜提出任意の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号

IV. 情報開示に関すること

＜提出任意の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号
事後教材:STEP UPノートに関する補足資料 ※19年度より教材名称はスキルUPワークに変更	事後教材:STEP UPノートに関する補足資料	資料7

2018年度 実施のご案内

全国の先生方の想いととも、日本の英語教育を支え続けて20年。

スコア型4技能英語検定

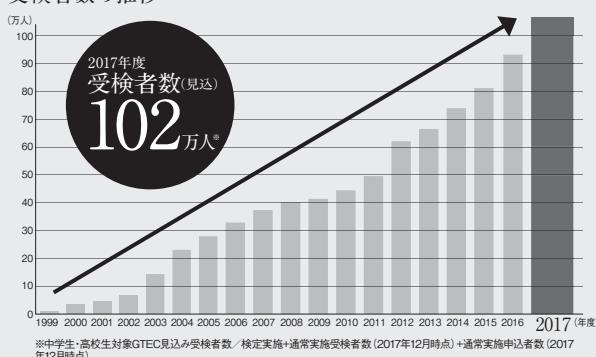
GTEC

大学入試センター
大学入試英語
成績提供システム

参加決定

※GTEC for STUDENTSをはじめとするGTECシリーズは、「GTEC」に名称を統一いたしました。

受検者数の推移



特長

**新入試で必要な英語力はもちろん、
留学・高校卒業後も使える
英語力を育む**

「読む」「聞く」「書く」「話す」の4技能をスコア型の絶対評価で測定技能別にスコアの伸びを実感することで生徒のやる気を引き出します。

**オフィシャルスコアを
大学入試に活用できる**

多くの大学・短期大学の一般・推薦・AO入試で、GTECのオフィシャルスコアが活用されています。最新の入試活用情報は、各大学・短期大学の入試要項などをご確認ください。

GTEC 入試

検索

<http://www.benesse.co.jp/gtec/>

2018年度検定について

(※申込期限を過ぎてからのお申し込みは受付
することができません。予めご了承ください。)

1回目検定日：6月16日(土)

資料回収日：6月18日(月)
申込受付期間：4月 2日(月)～ 5月11日(金)

2回目検定日：9月 1日(土)

資料回収日：9月 3日(月)
申込受付期間：6月 1日(金)～ 7月13日(金)

※Advanced・Basicタイプの日程となります。

3回目検定日：12月1日(土)

資料回収日：12月3日(月)
申込受付期間：9月3日(月)～ 10月19日(金)

料金(税込)

4技能ご請求金額 4,640円(標準受検料 5,040円)
3技能ご請求金額 2,880円(標準受検料 3,080円) / Speaking ご請求金額 1,760円(標準受検料 1,960円)

目次

- GTECとは P.2～3
- 検定受検の時間割について P.4
- 検定受検の実施について P.5
- 検定受検のお申し込みについて P.6
- 通常受検の実施について P.7
- 通常受検のお申し込みについて P.8

GTEC とは

◎実施日と回収日

GTEC には、「検定受検」と「通常受検」があります。

受検の種類		実施日・実施可能期間	回収日
検定受検※1 (4技能検定・3技能検定)		1回目：6月16日(土)	6月18日(月)
		2回目：9月 1日(土)	9月 3日(月)
		3回目：12月1日(土)	12月3日(月)
通常受検	3技能受検の場合 (Reading・Listening・Writing)	検定日以外はいつでも実施可能	いつでも回収可能 (日曜日、年末年始を除く)
	Speaking受検の場合	<u>Advanced (Basic※2)</u> [No.1]2018年 6月25日(月)～2018年8月31日(金) 2018年11月12日(月)～2018年12月7日(金) [No.2]2018年12月10日(月)～2019年2月21日(木) <u>Core</u> ※年間に実施いただける回数は1回となります。 2018年 6月 1日(金)～2018年8月31日(金)及び 2018年11月12日(月)～2019年2月21日(木)	実施終了日の 翌営業日

※1 4技能の検定受検はAdvanced・Basicタイプののみのご用意となります。Coreタイプで検定受検する場合は、3技能のみとなります。
また、2回目検定はAdvanced・Basicタイプのみの実施となります。

※2 Speakingについては、AdvancedタイプとBasicタイプが同一の問題です。

◎実施時間

タイプ	合 計	Reading	Listening	Writing	Speaking
Advanced/Basic	115分	45分	25分	20分	25分
Core	95分	32分	18分	20分	25分

※上記の時間は、問題の指示や例題の説明を含んでいます。
また、問題設計上、上記の時間より前にCDの音声が終わる場合があります。

◎問題内容

技能 \ 分野	Part A		Part B		Part C		Part D		
Reading	語い・語法問題		情報検索・概要把握問題		要点理解問題				
	Advanced	14問/7分	Advanced	14問/14分	Advanced				15問/24分
	Basic	12問/6分	Basic	12問/14分	Basic				12問/25分
	Core	10問/5分	Core	10問/12分	Core				8問/15分
Listening	写真・イラスト説明問題		会話応答問題		課題解決問題		要点理解問題		
	Advanced	10問/6分	Advanced	10問/5分	Advanced	10問/8分	Advanced	10問/6分	
	Basic	10問/6分	Basic	10問/5分	Basic	10問/8分	Basic	10問/6分	
	Core	8問/4分	Core	8問/4分	Core	8問/5分	Core	8問/5分	
Writing	Advanced・Basic・Coreとも1問/20分 自由記述形式								
Speaking	Advanced(Basic)・Coreとも12問/25分 タブレット実施								

◎オフィシャルスコアについて

「検定受検」の場合のみ、オフィシャルスコアとして認定されます。「OFFICIAL SCORE」を入試活用している大学もあります。詳しくは、GTECの公式ホームページ (<http://www.benesse.co.jp/gtec/>) をご覧ください。

※なお掲載情報は、予告なく更新される場合がありますので、必ず各大学の入試要項をご確認ください。

4技能オフィシャルスコア証明書（新スコア）

GTEC
OFFICIAL SCORE CERTIFICATE
[4技能版]

2020/12 2021/12
2020/12 2021/12

	Reading	Listening	Writing	Speaking	TOTAL
SCORE	230	175	290	150	845
GRADE	B1	A2	B1	A1	A2

CEFR LEVEL

SKILLS	YOUR PERFORMANCE
Reading	大学入学に必要とする読解力に達していると考えられます。読者の意図や感情、要約などの能力を評価できます。
Listening	音声の速さや発音、言い回し、文脈、語彙などに慣れ、聞き取れる範囲が広がります。聞き取りの能力が向上しています。
Writing	書き手としての能力が向上しています。書き手の意図や感情、要約などの能力を評価できます。書き手の意図や感情、要約などの能力を評価できます。
Speaking	聞き手としての能力が向上しています。聞き手の意図や感情、要約などの能力を評価できます。聞き手の意図や感情、要約などの能力を評価できます。

4技能のスコアが表示されます。
4技能のCEFR別結果を確認することができます。

3技能オフィシャルスコアレポート（現行スコア）

GTEC
SCORE REPORT

Name

Test Date (Year/Month) 2017/6

TOTAL SCORE (LAW) 523

GRADE 5

OFFICIAL SCORE

Benesse Corporation

	TOTAL	READING	LISTENING	WRITING
SCORE	523	198	227	98
GRADE	5	5	6	3

この部分に「OFFICIAL SCORE」が印字されます。

◎結果発送について

下記の結果帳票を返却いたします。

■検定受検の場合

<4技能※>4技能オフィシャルスコア証明書（新スコア）

<3技能>3技能オフィシャルスコアレポート（現行スコア），教師用帳票

<Speaking※>Speakingスコアレポート（現行スコア），教師用帳票

※4技能で検定受検された場合のみ返却されます。

■通常受検の場合

<3技能>3技能スコアレポート（現行スコア），教師用帳票

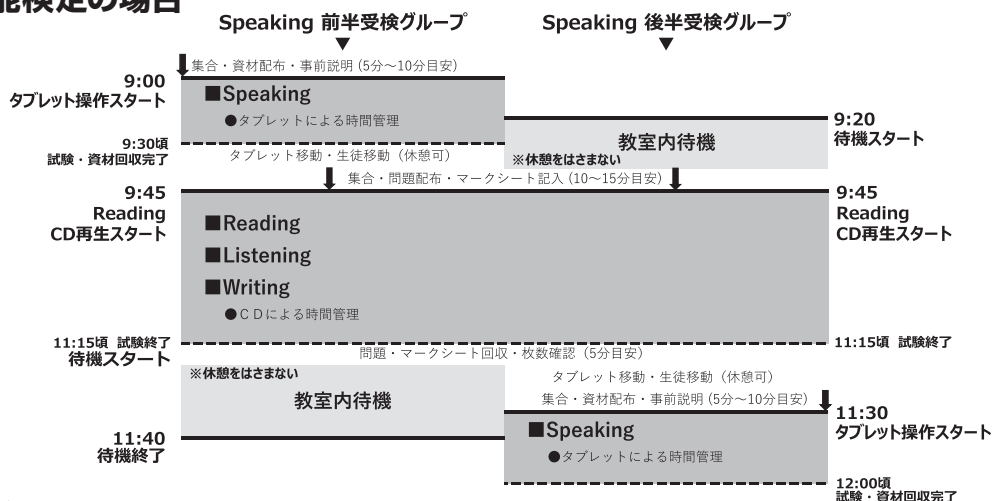
<Speaking>Speakingスコアレポート（現行スコア），教師用帳票

受検の種類	実施日	返却物	結果発送予定日
検定受検	1回目: 6月16日(土)	3技能	2018年 8月13日(月)発送予定
		Speaking	2018年 8月27日(月)発送予定
		4技能	2018年 9月中旬発送予定
	2回目: 9月1日(土)	3技能	2018年10月23日(火)発送予定
		Speaking	2018年11月 5日(月)発送予定
		4技能	2018年11月下旬発送予定
	3回目: 12月1日(土)	3技能	2019年 2月 4日(月)発送予定
		Speaking	2019年 2月14日(木)発送予定
		4技能	2019年 2月下旬発送予定
通常受検	検定日以外の実施	3技能	マークシート弊社到着後、約1.5～2か月後 (実施日や受検回により、結果発送日が異なる可能性があります)
		Speaking	実施機器(タブレット端末)弊社到着後、約1.5～2か月後 (実施期間や受検タイプにより、結果発送日が異なる可能性があります)

【重要】 検定受検の時間割について

2018年度のGTEC検定受検については、下記の時間割で実施ください。4技能検定受検の場合、Speakingのタブレット台数は、申込書に記載いただいた「受検者人数」の半数をご提供しますので、Speakingは前半と後半の2グループに分かれて受検をお願いいたします。試験の厳正化のため、必ず遵守いただきたく、ご調整・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

◎4技能検定の場合



◆ タブレットについて

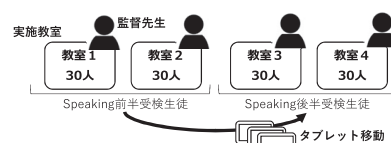
- タブレットは、各学年（各お申し込み）につき、申込書に記載いただいた「受検者人数」の半数をご提供します。
- 複数学年でご実施される場合は、タブレットを学年間で混在させないようにしてください。
- ※【重要】 混在された場合、スピーキングのスコアの返却ができませんので、くれぐれもご注意ください。

◆ 検定日当日の実施について ※Sp = Speaking 3技能 = Reading, Listening, Writing

パターン1) タブレットを移動させる場合

- 受検人数・クラス数によって、空き教室などを利用し、生徒を振り分けて実施いただく必要があります。
- Spの前半受検生徒と後半受検生徒の実施教室が必ず別になるようにします。
- 前半受検生徒のSp実施後に、タブレットを後半実施教室に移動させます。
- ※ 生徒がタブレットを運んでも構いませんが、必ず監督先生の同伴のもと、Spの前半受検生徒と後半受検生徒が会話しないようにしてください。
- ※ 必ず1教室あたり1人以上の監督者先生を置いてください。

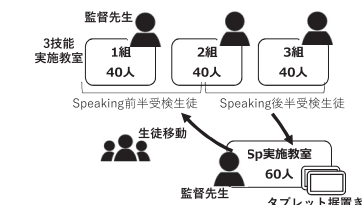
例) 40人 × 3クラス (120人) でご実施の場合



パターン2) 生徒を移動させる場合

- 3技能を実施する教室（自教室など）とは別に、LL教室などSp実施専用の教室を用意します。
- 前半受検生徒はSp実施専用教室でSpの実施後、3技能実施教室に移動し、実施・待機をします。
- 後半受検生徒は3技能実施教室で待機・実施後、Sp実施教室に移動します。
- ※ 3技能の試験時間中、タブレットは鍵のかかった場所で保管しておくか、Sp実施教室で先生に待機していただくなどし、タブレットが放置されている時間が発生しないようにしてください。
- ※ Sp前半受検生徒と後半受検生徒が3技能実施教室で会話しないよう監督してください。

例) 40人 × 3クラス (120人) でご実施の場合



◎3技能検定の場合

- 4技能検定の場合と同じ時間割 (9:45開始) で実施してください。

- ・集合・資料配布・事前説明 (5分～10分目安)
- 9:45 Reading 開始 (全タイプ共通)
- ・Reading → Listening → Writing の順番で休憩をはさまずに実施する。
- 11:15頃 Advanced/Basicタイプ 試験終了 / 10:55頃 Coreタイプ 試験終了
- ・問題・マークシートの回収・確認の後、解散。

検定受験の実施について

◎実施の流れ

検定前日まで

STEP1 テスト資料の確認

テスト資料は、検定日の3～5営業日前にお届けします。到着日の指定はできません。

資料の中に含まれている「実施の手引き」で受験の流れを確認します。

※「解答・解説集」は受検日の翌週にお届けします。

※検定日まで、問題冊子・実施用CD・実施機器（タブレット）は鍵のかかった場所で厳重に保管いただくようお願いいたします。

STEP2 「実施の手引き」を確認

STEP3 受検者へ「受験の前に読むしおり」を配付

受検者全員分をお届けします。受験上の注意点や問題形式などを先生方の負担なく受検者に事前に伝えることができます。

検定日当日

STEP4 GTECを受検

弊社指定の時間割でご実施ください。

STEP5 「問題冊子」・「マークシート」・「実施機器」・「ヘッドセット」等の回収

実施後、ReadingとListening・Writingの「問題冊子」は必ず全て回収してください。

専用の回収封筒をお届けしますので、ご活用ください。

回収日

STEP6 資料のとりまとめ・梱包・返送

資料とともにお届けしている「実施の手引き」を必ずご確認ください。

「マークシート」・「実施機器」・「ヘッドセット」等の返送資料はすべて回収し、指定回収日に業者へ引き渡してください。

※回収日の変更はできません。

翌日以降

STEP7 「問題冊子」の返却・「解答・解説集」の配付

検定日に回収した「問題冊子」と、検定日の翌週にお届けする「解答・解説集」を受検者へ配付してください。

STEP8

受検者 スコアレポート(個人成績票)・「STEP UPノート」を配付



※詳細はP.3をご確認ください。

「STEP UPノート」は受検者全員にお届けします。技能別、GTECのグレード別に学習ページが構成されており、受験結果に応じた効果的なスキル学習を行うことができます。

※Speakingについては、「STEP UPノート」はありません。

先生 「教師用帳票」と「インターネットフォルダ掲載データ」で結果を確認



教師用帳票 (3技能・Speaking) では受験結果をわかりやすく詳細に掲載しています。インターネットフォルダには受検者全員の「個人成績一覧」・「ライティング答案 (PDFファイル形式)」, またSpeaking Part CとPart Dの「成績上位者・中位者の音声データ」等を掲載します。

※一部の学校を除く

WEBサポートデスク

Benesse High School Online/インターネットフォルダのお問い合わせを承ります。

TEL **0120-350124** 通話料無料

受付時間/月～金8:00～19:00 土8:00～17:00 祝日、年末・年始を除く

WEB <https://bhso.benesse.ne.jp/>

※Benesse High School Onlineのご利用には学校ID・ログインコードまたは先生個人ID・パスワードが必要です。先生個人IDは、Benesse High School Online内の「個人登録から」発着していただけます。

※インターネットフォルダのご利用は先生個人ID・パスワードにてご利用いただけます。

約1.5～2か月後

検定受験のお申し込みについて

◎お申し込み方法

FAX送信先

0120-350470 (通信料無料)

- 検定受験のお申し込みは、「検定受験専用申込書」に必要事項をご記入のうえ、FAXにてお申し込みください。電話・WEBからのお申し込みは受け付けられませんのでご了承ください。
- Coreタイプの検定受験（「3技能」のみ）のお申し込みは「Coreタイプ検定受験専用申込書」にてお申し込みください。
- 「4技能」でお申し込みされた場合、今年度同一学年でGTEC SpeakingのCoreタイプを別途お申し込みいただくことはできません。

◎申込書について

Advanced・Basicタイプ 検定受験専用申込書

▼申込書記入例

[illegible]

必ずご記入ください

必要な場合のみご修正ください

- ①受検技能数・問題タイプ
- ②受検者人数
- ③教師用予備部数
- ④生徒用スコアレポート・校内順位の表示

- ②テスト実施用CD
③教師用ガイドセット

Coreタイプ検定受検専用申込書

▼申込書記入例

[illegible]

必ずご記入ください

必要な場合のみご修正ください

- ①受検者人数
- ②教師用予備部数
- ③生徒用スコアレポート校内順位の表示

- テスト実施用CD
- 教師用ガイドセット

◎実施責任者先生について

検定受検のお申し込み時には、申込書「裏」に記載の「受検規約」をご確認いただき必ず「実施責任者先生」のご署名をいただいています。

実施責任者先生とは、「GTEC検定受検規約」に沿って、責任をもって検定受検を実施していただく先生のことです。
ご署名がない場合は、お申し込みを承ることができませんので、必ずフルネームをご記入のうえ、お申し込みください。

通常受検の実施について GTEC (3技能)

◎実施の流れ

STEP1 時間割の決定

実施時間割を決定します。

Advancedタイプの場合の時間割例

9:00～ 9:15	マークシートへの記入・問題冊子の配布等	(15分)
9:15～10:00	Reading	(45分)
10:00～10:45	Listening & Writing	(45分)
10:45～10:50	マークシート回収など	(5分)

Coreタイプの場合の時間割例

9:00～ 9:15	マークシートへの記入・問題冊子の配布等	(15分)
9:15～ 9:47	Reading	(32分)
9:47～10:25	Listening & Writing	(38分)
10:25～10:30	マークシート回収など	(5分)

STEP2 「教師用ガイドセット」を使って指導

付属演習冊子を使い、事前にGTECの出題形式に慣れることができます。
「教師用ガイド」ではGTECの効果的な活用法などをご確認いただけます。
※「教師用ガイドセット」は原本をご提供します。必要に応じてコピーしてご活用ください。



STEP3 受検者へ「受検の前に読むしおり」を配付

受検者全員分をお届けします。受検上の注意点や問題形式などを先生方の負担なく受検者に事前に伝えることができます。

STEP4 GTEC (3技能) を受検

実施後、「問題冊子」、「解答・解説集」は復習用にお持ち帰りいただけます。
すぐに答え合わせを行うことで、テストを受けたままにせず、次の学習につなげることができます。

ベネッセハイスクールオンラインより問題見本を資料請求していただけます。
<https://bhso.Benesse.ne.jp/> ※お申し込みには、学校ID・ログインコードが必要です。

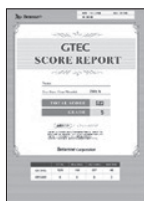


STEP5 資料のとりまとめ・梱包・返送

資料とともにお届けしている「実施の手引き」を必ずご確認ください。

STEP6

受検者 スコアレポート(個人成績票)・
「STEP UPノート」を配付



※詳細はP.3をご確認ください。

受検者全員にお届けします。技能別、GTECのグレード別に学習ページが構成されており、受検結果に応じた効果的なスキル学習を行うことができます。

先生 「教師用帳票」と「インターネットフォルダ掲載データ」で結果を確認



教師用帳票では受検結果をわかりやすく詳細に掲載しています。
インターネットフォルダには受検者全員の「個人成績一覧」・「ライティング答案(PDFファイル形式)」を掲載します。
※一部の学校を除く

WEBサポートデスク

Benesse High School Online/インターネットフォルダのお問い合わせを承ります。

TEL **0120-350124** 通話料無料

受付時間/月～金8:00～19:00 土8:00～17:00 祝日、年末・年始を除く

WEB <https://bhso.benesse.ne.jp/>

※Benesse High School Onlineのご利用には学校ID・ログインコードまたは先生個人ID・パスワードが必要です。先生個人IDは、Benesse High School Online内の「個人登録から」発着していただけます。
※インターネットフォルダのご利用は先生個人ID・パスワードにてご利用いただけます。

実施前日まで

実施当日

約2か月後

通常受検のお申し込みについて GTEC (3技能)

◎お申し込みについて

貴校実施日の15日前までにWEBまたはお電話でお申し込みください。お申し込みの時期が実施日の15日前を切りますと、貴校への問題到着が遅くなる場合もあります。また、専用の申込書にご記入のうえ、FAXでお申し込みいただくこともできます。

①WEBでのお申し込み

「Benesse High School Online」からご利用いただけます。

<http://www.bhso.ne.jp/info/sts>

※お申し込みには、学校ID・ログインコードが必要です。

②お電話でのお申し込み

申込書の内容をお伺いします。最後に復唱しますので、ご確認をお願いします。

0120-350455 (通話料無料)

◎ご送金方法

■振替用紙(手数料弊社負担)をご利用のうえ、お申し込みと同時に郵便局よりご送金ください。

■郵便局がお渡しする「振替払込請求書兼受領証」は貴校の控えとなりますので、大切に保管してください。

NEW 2017年3月より、請求書等がBenesse High School Onlineよりダウンロードできるようになりました。

<弊社教材・サービスにおける個人情報の利用目的・取り扱い>

弊社教材・サービスでは、各採択校における弊社教材・サービスの利用に際して提供いただく生徒様の個人情報を、当該教材および付随サービス提供の目的で利用します。

※上記の情報を弊社が提供する他のサービスの情報と併せて、弊社の学習・進路・進学支援のための教材・情報提供サービス等の基礎資料・データとして利用します。

※統計処理・分析した結果を、同様の目的のために、ベネッセグループ会社または関連会社・教育機関等に情報の取り扱いに関する契約を交わしたうえで提供することがあります。

個人情報は学校様および生徒様の意思に基づきご提供いただくものとしますが、不足がある場合弊社からの商品・サービスの提供が行えないことがありますので、あらかじめご了承ください。

弊社は、教材・サービスの目的の範囲内で、個人情報の取り扱いの全部または一部を、自らの責任と負担において第三者に業務委託することがありますが、その場合には、当該第三者との間において委託契約書を交わし適切な管理をいたします。このような業務委託および法令の定めによる場合を除き、ご提供いただいた個人情報を、事前の同意なく第三者に提供することは一切ありません。

成績推移データの提供や、毎年の入試結果の総括を行い次年度の入試動向を予測する統計データ等作成のために、一定期間生徒様の情報を保管いたしますが、その情報の取り扱いにつきましては必要かつ適切な措置を講じて万全の配慮を行います。

株式会社ベネッセコーポレーション
CPO (個人情報保護最高責任者)

〈お問い合わせ先〉

個人情報の取り扱いおよび管理についてのお問い合わせは、全国の先生方からのテスト・教材等のお問い合わせ窓口であるお客様サービスセンターにて、承ります。

0120-350455 (通話料無料)

受付時間／月～金 8:00～19:00 土 8:00～17:00

(祝日、年末・年始を除く)

〒700-8686 岡山県岡山市北区南方3-7-17

なお、弊社の個人情報保護方針につきましては、<http://www.benesse.co.jp/privacy/>に掲載しております。

お問い合わせ先

●お客様サービスセンター

0120-350455

(通話料無料)

受付時間／月～金 8:00～19:00 土 8:00～17:00
(祝日、年末・年始を除く)

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:GTEC Advanced タイプ

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・写真など与えられた視覚的情 報をもとに、<u>状況や場面、事物 を描写説明した単文を聞き分 けることができる。</u> ※義務教育段階の学習内容の定 着度合いも測定	【設問数】10 問 【出題形式】選択式 ※リスニングの試験 サンプル問題 聞く こと Part A	聞く こ と	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを 理解したり、概要や要点をとらえたりする。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話 す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりするこ と。 コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や 考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) 言語活動 ア 聞くこと (ア)強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴を とらえ、正しく聞き取ること。

			(イ) 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ること。 (3) 言語材料 (ア) 音声 (イ) 文字及び符号 (ウ) 語、連語及び慣用表現 (エ) 文法事項（本項目で規定されているものはすべて対象）
・事前予測ができる情報がない中で、 <u>不意の質問に対する適当な応答を素早く判断し処理することができる。</u>	【設問数】10 問 【出題形式】選択式 ※リスニングの試験	聞くこと	コミュニケーション英語 I 2 内容 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。
・事前に与えられる視覚情報と音声情報から、 <u>その場で求められている課題（タスク）を解決することができる。</u>	【設問数】10 問 【出題形式】選択式 ※リスニングの試験 サンプル問題 聞くこと Part C	聞くこと	コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。 コミュニケーション英語 II 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。
・一定以上の長さの英文を聞き、 <u>事前に与えられる英語の質問</u>	【設問数】10 問 【出題形式】選択式	聞くこと	コミュニケーション英語 I 2 内容

に答えるため必要な情報を選択、適切な判断をすることができる。	※リスニングの試験	と	(1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。 コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 (2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。
--------------------------------	-----------	---	---

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・短文の文脈を理解するとともに、<u>語彙選択上最も適切な表現を正確に判断することができる。</u> ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】14 問 【出題形式】選択式	読むこと	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) 言語活動 ウ 読むこと (ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。

			(イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり, その内容が表現されるように音読すること。 (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。 (3) 言語材料 (イ) 文字及び符号 (ウ) 語, 連語及び慣用表現 (エ) 文法事項 (本項目で規定されているものはすべて対象)
・与えられた英文の題材について, <u>短時間で全体の概要を理解することができる。</u>	【設問数】6問 【出題形式】選択式 サンプル問題 読むこと Part B-1 (概要把握)	読むこと	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで, 情報や考えなどを理解したり, 概要や要点をとらえたりする。また, 聞き手に伝わるように音読する。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文, つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) イ 説明, 評論, 物語, 随筆などについて, 速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また, 聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。
・与えられた英文の題材について, <u>短時間で必要な情報を引き出すことができる。</u>	【設問数】8問 【出題形式】選択式 サンプル問題 読むこと Part B-2 (情報検索)	読むこと	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで, 情報や考えなどを理解したり, 概要や要点をとらえたりする。また, 聞き手に伝わるように音読する。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文, つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 コミュニケーション英語Ⅱ

			2 内容 (1) イ 説明, 評論, 物語, 随筆などについて, 速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また, 聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。 (2) イ 論点や根拠などを明確にするとともに, 文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。
・多めの英文について, <u>趣旨に関する内容や詳細部分の要点を理解し, 必要な情報を読み取ることができる。</u>	【設問数】 15 問 【出題形式】 選択式	読むこと	コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで, 情報や考えなどを理解したり, 概要や要点をとらえたりする。また, 聞き手に伝わるように音読する。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文, つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 コミュニケーション英語 II 2 内容 (1) イ 説明, 評論, 物語, 随筆などについて, 速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また, 聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。 (2) イ 論点や根拠などを明確にするとともに, 文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 英文を読み上げる形式の出題で、<u>状況や英文を理解した上で、正確な発音で音読することが</u>できる。 ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】2 問 【出題形式】録音式 ※スピーキングの試験	話 す こ と	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴，話す速度，声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。 コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。 英語表現Ⅰ 2 内容 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴，話す速度，声の大きさなどに注意しながら話すこと。 英語表現Ⅱ 2 内容 (2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話すこと。 中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) 言語活動

			イ 話すこと (ア) 強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音すること。 (3) 言語材料 (イ) 音声 (i) 文字及び符号 (ウ) 語、連語及び慣用表現 (エ) 文法事項（本項目で規定されているものはすべて対象）
・図示された情報を読み取り、<u>それに関する質問を聞き取った上で、適切に応答することができる。</u> ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】4問 【出題形式】録音式 ※スピーキングの試験	話すこと	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。 コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。 (1) エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。 英語表現Ⅰ 2 内容 (1) ア 与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。

			(1) ウ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどをまとめ，発表する。 英語表現Ⅱ 2 内容 (1) ア 与えられた条件に合わせて，即興で話す。また，伝えたい内容を整理して論理的に話す。 (1) ウ 発表の仕方や討論のルール，それらの活動に必要な表現などを学習し，実際に活用すること。 中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) 言語活動 イ 話すこと (イ) 自分の考えや気持ち，事実などを聞き手に正しく伝えること。 (ウ) 聞いたり読んだりしたことなどについて，問答したり意見を述べ合ったりなどすること。 (3) 言語材料 (ア) 音声 (イ) 文字及び符号 (ウ) 語，連語及び慣用表現 (エ) 文法事項（本項目で規定されているものはすべて対象）
・日常的な出来事について，<u>話の流れを踏まえて相手に伝わるように状況を説明することができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】録音式 ※スピーキングの試験	話すこと	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) ウ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，話し合ったり意見の交換をした

	サンプル問題 話す こと Part C		りする。 コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) ウ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに 基づき，情報や考えなどについて，話し合うなどして結論をまとめ る。 (2) エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように 話したり書いたりすること。 英語表現Ⅰ 2 内容 (1) ア 与えられた話題について，即興で話す。また，聞き手や目的 に応じて簡潔に話す。 (1) ウ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに 基づき，情報や考えなどをまとめ，発表する。 (2) ウ 発表の仕方や発表のために必要な表現などを学習し，実際 に活用すること。 英語表現Ⅱ 2 内容 (1) ア 与えられた条件に合わせて，即興で話す。また，伝えたい内 容を整理して論理的に話す。 (2) ウ 発表の仕方や討論のルール，それらの活動に必要な表現な どを学習し，実際に活用すること。
・身近で社会的なテーマに対し	【設問数】1問	話 す	コミュニケーション英語Ⅰ

て、<u>自分の意見とその意見をサポートする理由を言うことができる。</u>	【出題形式】録音式 ※スピーキングの試験	こと	2 内容 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴，話す速度，声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。 (2) ウ 事実と意見などを区別して，理解したり伝えたりすること。 コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。 (2) エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。 英語表現Ⅰ 2 内容 (1) ア 与えられた話題について，即興で話す。また，聞き手や目的に応じて簡潔に話す。 (1) ウ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどをまとめ，発表する。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴，話す速度，声の大きさなどに注意しながら話すこと。 (2) ウ 発表の仕方や発表のために必要な表現などを学習し，実際に活用すること。 (2) エ 聞いたり読んだりした内容について，そこに示されている意見を他の意見と比較して共通点や相違点を整理したり，自分の考えをまとめたりすること。
---	------------------------------------	-----------	---

			英語表現Ⅱ 2 内容 (1) ア 与えられた条件に合わせて、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。 (2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話すこと。 (2) ウ 発表の仕方や討論のルール、それらの活動に必要な表現などを学習し、実際に活用すること。
--	--	--	---

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・与えられた E メールで問われる内容について、<u>限られた時間の中で適切な回答を表現することができる。</u> ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】1 問 【出題形式】記述式	書くこと	コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基つき，情報や考えなどについて，簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 コミュニケーション英語 II 2 内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基つき，情報や考えなどについて，まとまりのある文章を書く。 (2) エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。 英語表現 I 2 内容 (1) イ 読み手や目的に応じて，簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら書くこと。また，書いた内容を読み返すこと。 中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) 言語活動

			エ 書くこと (ア)文字や符号を識別し，語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。 (イ)語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。 (ウ)聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり，感想，賛否やその理由を書いたりなどすること。 (エ)身近な場面における出来事や体験したことなどについて，自分の考えや気持ちなどを書くこと。 (オ)自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように，文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。
・与えられた話題について，<u>限られた時間の中で自分の意見を説得力を持って表現することができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】記述式 サンプル問題 書くこと Part B	書くこと	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，まとまりのある文章を書く。 (2) イ 論点や根拠などを明確にするとともに，文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。 (2) エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。

			英語表現Ⅰ 2 内容 (1) イ 読み手や目的に応じて，簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら書くこと。また，書いた内容を読み返すこと。 英語表現Ⅱ 2 内容 (2) イ 論点や根拠などを明確にするとともに，文章の構成や図表との関連，表現の工夫などを考えながら書くこと。また，書いた内容を読み返して推敲すること。
--	--	--	--

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:GTEC Basic タイプ

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・写真など与えられた視覚的情 報をもとに、 <u>状況や場面、事物 を描写説明した単文を聞き分 けることができる。</u> ※義務教育段階の学習内容の定 着度合いも測定	【設問数】10 問 【出題形式】選択式 ※リスニングの試験 サンプル問題 聞く こと Part A	聞 く こ と	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを 理解したり、概要や要点をとらえたりする。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話 す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりするこ と。 コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や 考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) 言語活動 ア 聞くこと (ア)強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴を とらえ、正しく聞き取ること。

			(イ) 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ること。 (3) 言語材料 (ア) 音声 (イ) 文字及び符号 (ウ) 語、連語及び慣用表現 (エ) 文法事項（本項目で規定されているものはすべて対象）
・事前予測ができる情報がない中で、<u>不意の質問に対する適当な応答を素早く判断し処理することができる。</u>	【設問数】10 問 【出題形式】選択式 ※リスニングの試験	聞くこと	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。
・事前に与えられる視覚情報と音声情報から、<u>その場で求められている課題（タスク）を解決することができる。</u>	【設問数】10 問 【出題形式】選択式 ※リスニングの試験 サンプル問題 聞くこと Part C	聞くこと	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。 コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。

・一定以上の長さの英文を聞き、<u>事前に与えられる英語の質問に答えるため必要な情報を選択、適切な判断をすることができる。</u>	【設問数】10 問 【出題形式】選択式 ※リスニングの試験	聞くこと	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。 コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 (2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。
--	--	-------------	---

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・短文の文脈を理解するとともに、<u>語彙選択上最も適切な表現を正確に判断することができる。</u> ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】14 問 【出題形式】選択式	読むこと	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) 言語活動

			ウ 読むこと (ア) 文字や符号を識別し, 正しく読むこと。 (イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり, その内容が表現されるように音読すること。 (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。 (3) 言語材料 (イ) 文字及び符号 (ウ) 語, 連語及び慣用表現 (エ) 文法事項 (本項目で規定されているものはすべて対象)
・与えられた英文の題材について, <u>短時間で全体の概要を理解することができる。</u>	【設問数】6 問 【出題形式】選択式 サンプル問題 読むこと Part B (概要把握)	読むこと	コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで, 情報や考えなどを理解したり, 概要や要点をとらえたりする。また, 聞き手に伝わるように音読する。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文, つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 コミュニケーション英語 II 2 内容 (1) イ 説明, 評論, 物語, 随筆などについて, 速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また, 聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。
・与えられた英文の題材について, <u>短時間で必要な情報を引き出すことができる。</u>	【設問数】8 問 【出題形式】選択式 サンプル問題 読むこと Part B (情報検	読むこと	コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで, 情報や考えなどを理解したり, 概要や要点をとらえたりする。また, 聞き手に伝わるように音読する。

	索)		(2) イ 内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) イ 説明，評論，物語，随筆などについて，速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また，聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。 (2) イ 論点や根拠などを明確にするとともに，文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。
・多めの英文について，趣旨に関する内容や詳細部分の要点を理解し，必要な情報を読み取ることができる。	【設問数】15問 【出題形式】選択式	読むこと	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえたりする。また，聞き手に伝わるように音読する。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) イ 説明，評論，物語，随筆などについて，速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また，聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。 (2) イ 論点や根拠などを明確にするとともに，文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 英文を読み上げる形式の出題で、<u>状況や英文を理解した上で、正確な発音で音読することができる。</u> ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】2 問 【出題形式】録音式 ※スピーキングの試験	話すこと	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴，話す速度，声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。 コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。 英語表現Ⅰ 2 内容 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴，話す速度，声の大きさなどに注意しながら話すこと。 英語表現Ⅱ 2 内容

			(3) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話すこと。 中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) 言語活動 イ 話すこと (ｱ) 強勢, イントネーション, 区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ, 正しく発音すること。 (3) 言語材料 (ｱ) 音声 (ｲ) 文字及び符号 (ｳ) 語, 連語及び慣用表現 (エ) 文法事項 (本項目で規定されているものはすべて対象)
・図示された情報を読み取り, <u>それに関する質問を聞き取った上で, 適切に応答することができる。</u> ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】4 問 【出題形式】録音式 ※スピーキングの試験	話すこと	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) ウ 聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどについて, 話し合ったり意見の交換をしたりする。 コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) ウ 聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどについて, 話し合うなどして結論をまとめる。

			(1) エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。 英語表現Ⅰ 2 内容 (1) ア 与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。 (1) ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。 英語表現Ⅱ 2 内容 (1) ア 与えられた条件に合わせて、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。 (1) ウ 発表の仕方や討論のルール、それらの活動に必要な表現などを学習し、実際に活用すること。 中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) 言語活動 イ 話すこと (イ) 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。 (ウ) 聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりなどすること。 (3) 言語材料 (ア) 音声
--	--	--	--

			(イ) 文字及び符号 (ウ) 語，連語及び慣用表現 (エ) 文法事項（本項目で規定されているものはすべて対象）
・日常的な出来事について、 <u>話の流れを踏まえて相手に伝わるように状況を説明することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 録音式 ※スピーキングの試験 サンプル問題 話すこと Part C	話すこと	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) ウ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，話し合ったり意見の交換をしたりする。 コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) ウ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，話し合うなどして結論をまとめる。 (2) エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。 英語表現Ⅰ 2 内容 (1) ア 与えられた話題について，即興で話す。また，聞き手や目的に応じて簡潔に話す。 (1) ウ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどをまとめ，発表する。 (2) ウ 発表の仕方や発表のために必要な表現などを学習し，実際に活用すること。

			英語表現Ⅱ 2 内容 (1) ア 与えられた条件に合わせて、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。 (2) ウ 発表の仕方や討論のルール、それらの活動に必要な表現などを学習し、実際に活用すること。
・身近で社会的なテーマに対して、<u>自分の意見とその意見をサポートする理由を言うことができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】録音式 ※スピーキングの試験	話すこと	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。 (2) ウ 事実と意見などを区別して、理解したり伝えたりすること。 コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。 (2) エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。 英語表現Ⅰ 2 内容 (1) ア 与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。

			(1) ウ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどをまとめ，発表する。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴，話す速度，声の大きさなどに注意しながら話すこと。 (2) ウ 発表の仕方や発表のために必要な表現などを学習し，実際に活用すること。 (2) エ 聞いたり読んだりした内容について，そこに示されている意見を他の意見と比較して共通点や相違点を整理したり，自分の考えをまとめたりすること。 英語表現Ⅱ 2 内容 (1) ア 与えられた条件に合わせて，即興で話す。また，伝えたい内容を整理して論理的に話す。 (2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話すこと。 (2) ウ 発表の仕方や討論のルール，それらの活動に必要な表現などを学習し，実際に活用すること。
--	--	--	--

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・与えられた E メールで問われる内容について， <u>限られた時間の中で適切な回答を表現することができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】記述式	書 く こ と	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，簡潔に書く。

※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定		(2) イ 内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，まとまりのある文章を書く。 (2) エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。 英語表現Ⅰ 2 内容 (1) イ 読み手や目的に応じて，簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら書くこと。また，書いた内容を読み返すこと。 中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) 言語活動 エ 書くこと (ｱ) 文字や符号を識別し，語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。 (ｲ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。 (ｳ) 聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり，感想，賛否やその理由を書いたりなどすること。 (エ) 身近な場面における出来事や体験したことなどについて，自分の考
------------------------------	--	--

			えや気持ちなどを書くこと。 (オ) 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。
・与えられた話題について、 <u>限られた時間の中で自分の意見を説得力を持って表現することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式 サンプル問題 書くこと Part B	書くこと	コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 コミュニケーション英語 II 2 内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，まとまりのある文章を書く。 (2) イ 論点や根拠などを明確にするとともに，文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。 (2) エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。 英語表現 I 2 内容 (1) イ 読み手や目的に応じて，簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら書くこと。また，書いた内容を読み返すこと。 英語表現 II

			2 内容 (2) イ 論点や根拠などを明確にするとともに，文章の構成や図表との関連，表現の工夫などを考えながら書くこと。また，書いた内容を読み返して推敲すること。
--	--	--	---

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:GTEC Core タイプ

対象教科:英語

測定内容の区分:基本タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・イラストなど与えられた視覚的情報をもとに、 <u>状況や場面</u> 、 <u>事物を描写説明した単文</u> を聞き分けることができる。 ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】8問 【出題形式】選択式 ※リスニングの試験 サンプル問題「聞くこと」Part A	聞くこと	コミュニケーション英語 I 2 内容 (1)ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 (2)ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。 中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) 言語活動 ア 聞くこと (ア)強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく聞き取ること。 (イ) 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ること。 (3) 言語材料 (ア) 音声 (イ) 文字及び符号 (ウ) 語、連語及び慣用表現 (エ) 文法事項 (本項目で規定されているものはすべて対象)

・事前予測ができる情報がない中で、<u>不意の質問に対する適当な応答を素早く判断し処理することができる。</u> ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】8問 【出題形式】選択式 ※リスニングの試験	聞くこと	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (2)ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴，話す速度，声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。 中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) 言語活動 ア 聞くこと (イ) 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて，情報を正確に聞き取ること。 (ウ) 質問や依頼などを聞いて適切に応じること。 (3) 言語材料 (ア) 音声 (イ) 文字及び符号 (ウ) 語，連語及び慣用表現 (エ) 文法事項（本項目で規定されているものはすべて対象）
・事前に与えられる視覚情報と音声情報から，<u>その場で求められている課題（タスク）を解決することができる。</u> ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】8問 【出題形式】選択式 ※リスニングの試験 サンプル問題「聞くこと」Part C	聞くこと	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1)ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえたりする。 (2)ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴，話す速度，声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。

			中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) 言語活動 ア 聞くこと (オ) まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること。 (3) 言語材料 (ア) 音声 (イ) 文字及び符号 (ウ) 語、連語及び慣用表現 (エ) 文法事項（本項目で規定されているものはすべて対象）
・一定以上の長さの英文を聞き、<u>事前に与えられる英語の質問に答えるため必要な情報を選択、適切な判断をすることができる。</u> ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】8問 【出題形式】選択式 ※リスニングの試験	聞くこと	コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。 中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) 言語活動 ア 聞くこと (オ) まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること。 (3) 言語材料 (ア) 音声 (イ) 文字及び符号 (ウ) 語、連語及び慣用表現 (エ) 文法事項（本項目で規定されているものはすべて対象）

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・短文の文脈を理解するとともに、<u>語彙選択上最も適切な表現を正確に判断することができる。</u> ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】10 問 【出題形式】選択式	読むこと	コミュニケーション英語 I 2 内容 (2)イ 内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) 言語活動 ウ 読むこと (ア) 文字や符号を識別し，正しく読むこと。 (イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり，その内容が表現されるように音読すること。 (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。 (3) 言語材料 (イ) 文字及び符号 (ウ) 語，連語及び慣用表現 (エ) 文法事項（本項目で規定されているものはすべて対象）

・与えられた英文の題材について、<u>短時間で必要な情報を引き出すことができる。</u> ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】8問 【出題形式】選択式 サンプル問題 「読むこと」Part B-1 (情報検索)	読むこと	コミュニケーション英語 I 2 内容 (1)イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 (2)イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) 言語活動 ウ 読むこと (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。 (3) 言語材料 (イ) 文字及び符号 (ウ) 語、連語及び慣用表現 (エ) 文法事項（本項目で規定されているものはすべて対象）
・与えられた英文の題材について、<u>短時間で全体の概要を理解することができる。</u> ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】2問 【出題形式】選択式 サンプル問題 「読むこと」Part B-2 (概要把握)	読むこと	コミュニケーション英語 I 2 内容 (1)イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 (2)イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。

			中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) 言語活動 ウ 読むこと (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。 (3) 言語材料 (イ) 文字及び符号 (ウ) 語，連語及び慣用表現 (エ) 文法事項（本項目で規定されているものはすべて対象）
・多めの英文について、<u>趣旨に関する内容や詳細部分の要点を理解し，必要な情報を読み取ることができる。</u> ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】8問 【出題形式】選択式	読むこと	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 イ 説明や物語などを読んで，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえたりする。また，聞き手に伝わるように音読する。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) 言語活動 ウ 読むこと (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。 (3) 言語材料 (イ) 文字及び符号 (ウ) 語，連語及び慣用表現 (エ) 文法事項（本項目で規定されているものはすべて対象）

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・英文を読み上げる形式の出題で、<u>状況や英文を理解した上で、正確な発音で音読することが出来る。</u> ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】2問 【出題形式】録音式 ※スピーキングの試験	話すこと	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴, 話す速度, 声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。 英語表現Ⅰ 2 内容 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴, 話す速度, 声の大きさなどに注意しながら話すこと。 中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) 言語活動 イ 話すこと (ア) 強勢, イントネーション, 区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ, 正しく発音すること。 (3) 言語材料 (ア) 音声 (イ) 文字及び符号 (ウ) 語, 連語及び慣用表現 (エ) 文法事項 (本項目で規定されているものはすべて対象)

・図示された情報を読み取り， <u>それに関する質問を聞き取った上で，適切に応答することができる。</u> ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】4 問 【出題形式】録音式 ※スピーキングの試験	話すこと	コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) ウ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，話し合ったり意見の交換をしたりする。 中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) 言語活動 イ 話すこと (イ) 自分の考えや気持ち，事実などを聞き手に正しく伝えること。 (ウ) 聞いたり読んだりしたことなどについて，問答したり意見を述べ合ったりなどすること。 (3) 言語材料 (ア) 音声 (イ) 文字及び符号 (ウ) 語，連語及び慣用表現 (エ) 文法事項（本項目で規定されているものはすべて対象）
---	---	-------------	--

・日常的な出来事について、話の流れを踏まえて相手に伝えるように状況を説明することができる。 ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】1 問 【出題形式】録音式 ※スピーキングの試験 サンプル問題 「話すこと」Part C	話すこと	コミュニケーション英語 I 2 内容 (1)ウ 聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどについて, 話し合ったり意見の交換をしたりする。 英語表現 I 2 内容 (1)ア 与えられた話題について, 即興で話す。また, 聞き手や目的に応じて簡潔に話す。 (1)ウ 聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどをまとめ, 発表する。 (2)ウ 発表の仕方や発表のために必要な表現などを学習し, 実際に活用すること。 中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) 言語活動 イ 話すこと (ア) 強勢, イントネーション, 区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ, 正しく発音すること。 (イ) 自分の考えや気持ち, 事実などを聞き手に正しく伝えること。 (エ) つなぎ言葉を用いるなどのいろいろな工夫をして話を続けること。 (3) 言語材料 (ア) 音声 (イ) 文字及び符号 (ウ) 語, 連語及び慣用表現 (エ) 文法事項 (本項目で規定されているものはすべて対象)
---	--	-------------	---

・身近で社会的なテーマに対して、自分の意見とその意見をサポートする理由を言うことができる。 ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】1 問 【出題形式】録音式 ※スピーキングの試験	話すこと	コミュニケーション英語 I 2 内容 (2)ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴, 話す速度, 声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。 (2)ウ 事実と意見などを区別して, 理解したり伝えたりすること。 英語表現 I 2 内容 (1)ア 与えられた話題について, 即興で話す。また, 聞き手や目的に応じて簡潔に話す。 (1)ウ 聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどをまとめ, 発表する。 (2)ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴, 話す速度, 声の大きさなどに注意しながら話すこと。 (2)ウ 発表の仕方や発表のために必要な表現などを学習し, 実際に活用すること。 (2)エ 聞いたり読んだりした内容について, そこに示されている意見を他の意見と比較して共通点や相違点を整理したり, 自分の考えをまとめたこと。
---	--	-------------	--

		話 す こ と	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) 言語活動 イ 話すこと (ア) 強勢, イントネーション, 区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ, 正しく発音すること。 (イ) 自分の考えや気持ち, 事実などを聞き手に正しく伝えること。 (エ) つなぎ言葉を用いるなどのいろいろな工夫をして話を続けること。 (オ) 与えられたテーマについて簡単なスピーチをすること。 (3) 言語材料 (ア) 音声 (イ) 文字及び符号 (ウ) 語, 連語及び慣用表現 (エ) 文法事項 (本項目で規定されているものはすべて対象)
--	--	------------------	--

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・与えられた E メールで問われる内容について、 <u>限られた時間の中で適切な回答を表現することができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】記述式	書くこと	コミュニケーション英語 I 2 内容 (1)エ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，簡潔に書く。 (2)イ 内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 英語表現 I 2 内容 (1)イ 読み手や目的に応じて，簡潔に書く。 (2)イ 内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら書くこと。また，書いた内容を読み返すこと。 中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) 言語活動 エ 書くこと (ア)文字や符号を識別し，語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。 (イ)語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。 (ウ)聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり，感想，賛否やその理由を書いたりなどすること。 (エ)身近な場面における出来事や体験したことなどについて，自分の考えや気持ちなどを書くこと。 (オ)自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように，文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。

・与えられた話題について、<u>限られた時間の中で自分の意見を説得力を持って表現することができる。</u> ※義務教育段階の学習内容の定着度合いも測定	【設問数】1 問 【出題形式】記述式 サンプル問題「書くこと」Part B	書くこと	コミュニケーション英語 I 2 内容 (1)エ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，簡潔に書く。 (2)イ 内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 英語表現 I 2 内容 (1)イ 読み手や目的に応じて，簡潔に書く。 (2)イ 内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら書くこと。また，書いた内容を読み返すこと。 中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) 言語活動 エ 書くこと (ア)文字や符号を識別し，語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。 (イ)語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。 (ウ)聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり，感想，賛否やその理由を書いたりなどすること。 (エ)身近な場面における出来事や体験したことなどについて，自分の考えや気持ちなどを書くこと。 (オ)自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように，文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。
---	---	-------------	--

(様式5)

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:GTEC Advanced タイプ

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:「聞くこと」Part A

出題科目	英語													
出題のポイント	写真など与えられた視覚的情報をもとに、状況や場面、事物を描写説明した単文を聞き分ける力を測定する問題です。キーワードを聞き取れるか、基本的なリスニング力が試されます。													
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td colspan="2">思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td></td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等			○				
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等												
	○													
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式		○				
小問番号	選択式	短答式	記述式											
	○													
主として問う技能	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				小問番号	聞く	読む	話す	書く		○			
小問番号	聞く	読む	話す	書く										
	○													
サンプル問題	ここでは、写真の内容を表す文として、[A]～[C]の3つの英文が読まれます。その中から、最も適当なものを1つ選びなさい。  [A] [B] [C] [スクリプト] [A] A woman is reaching for a map while a man is trying to start a car. [B] A man is driving a vehicle while a woman is looking at a map. [C] A man and a woman are going for a drive while they are searching for a map.													
解答例	B													

(参考)学 習指導要 領の関連 項目	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。 コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。
---------------------------------------	--

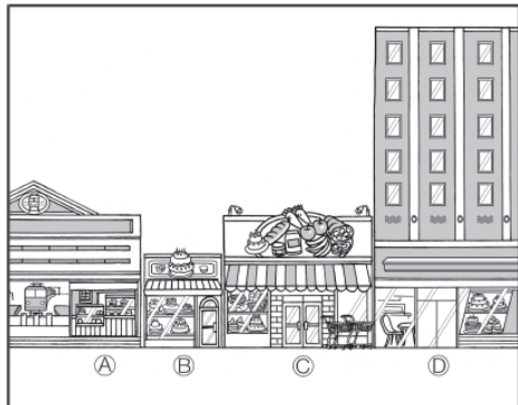
事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:GTEC Advanced タイプ

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:「聞くこと」Part C

出題科目	英語													
出題のポイント	事前に与えられる視覚情報と音声情報から、その場で求められている課題（タスク）を解決する力を測定する問題です。場面設定が「ホームステイ中」「海外から来た留学生とのやりとり」などに設定されています。英語で指示を与えられて行動するという実際の英語でのやりとりに近い感覚を体感できます。													
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td>思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>Q23</td><td></td><td>○</td></tr></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	Q23		○							
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等												
Q23		○												
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td>Q23</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	Q23	○							
小問番号	選択式	短答式	記述式											
Q23	○													
主として問う技能	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td>Q23</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く	Q23	○						
小問番号	聞く	読む	話す	書く										
Q23	○													
サンプル問題	ここでは、まず状況を説明する日本語が読まれます。続いて英文が読まれるので、イラストを見ながら聞きなさい。あなたは、各場面の日本人学生になったつもりで、イラストの下の質問に対する答えとして最も適当なものを、[A]～[D]の中から1つ選びなさい。 あなたはアメリカに留学中です。ホストシスターがテニスの大会で優勝したので、祝賀会をすることになり、今、ホストマザーとお祝いのケーキについて話しています。まず、ホストマザーからあなたに話しかけます。  23. Where will you get the cake from? [A] ㉠ [B] ㉡ [C] ㉢ [D] ㉣ [スクリプト] F : I'd like you to get the cake. M: Sure. The shop beside the station sells cakes. F : Yes, but it's expensive. Get one from Kathy's Cake Shop instead. It's on the first floor of the building next to the supermarket. M: OK.													
解答例	D													

(参考)学 習指導要 領の関連 項目	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。 コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。
---------------------------------------	--

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション
 測定ツール名:GTEC Advanced タイプ
 対象教科:英語
 測定内容の区分:標準タイプ
 サンプル問題番号:「読むこと」Part B-1 概要把握

出題科目	英語													
出題のポイント	与えられた英文の題材について、短時間で全体の概要を理解する力を測定する問題です。英語の新聞や雑誌の記事を模した英文を題材にしています。													
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td>思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等			○				
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等												
		○												
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式		○				
小問番号	選択式	短答式	記述式											
	○													
主として問う技能	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>				小問番号	聞く	読む	話す	書く			○		
小問番号	聞く	読む	話す	書く										
		○												
サンプル問題	ここでは、2つの形式の問題があります。英語の文章や図表の中から、質問に対する答えとなる考えや情報を<u>素早く</u>探し、最も適当なものを、[A]～[D]の中から1つ選びなさい。 Nearly every public bus and train system faces what is known as the “last-mile problem.” No matter how complete these systems are, people usually must walk some distance to reach their homes or jobs. Since it is expensive to add new train or bus lines, some cities are experimenting with programs that let people rent bicycles or small cars near train stations. Once they arrive at their home or office, people leave the bicycle or car for someone else. No train or bus system will ever be perfect, so it is necessary to find solutions for the “last-mile problem.” What is this passage mainly about? [A] How to build trains and buses that serve more people. [B] Why the vehicle rental system does not work well. [C] How to reduce walking distances when using buses or trains. [D] Why people find bicycles more convenient to use than buses.													
解答例	C													

(参考)学 習指導要 領の関連 項目	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) イ 説明，評論，物語，随筆などについて，速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また，聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。
---------------------------------------	--

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション
 測定ツール名:GTEC Advanced タイプ
 対象教科:英語
 測定内容の区分:標準タイプ
 サンプル問題番号:「読むこと」Part B-2 情報検索

出題科目	英語																	
出題のポイント	与えられた英文の題材について，短時間で必要な情報を引き出す力を測定する問題です。英語の広告や案内などを模した題材としています。																	
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td>思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>Q27</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>Q28</td><td></td><td>○</td></tr></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	Q27		○	Q28		○								
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																
Q27		○																
Q28		○																
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td>Q27</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>Q28</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	Q27	○			Q28	○							
小問番号	選択式	短答式	記述式															
Q27	○																	
Q28	○																	
主として問う技能	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td>Q27</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>Q28</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く	Q27		○			Q28		○				
小問番号	聞く	読む	話す	書く														
Q27		○																
Q28		○																
サンプル問題	27. If you wanted to participate in the parade, by when must you register? [A] July 23. [B] July 30. [C] August 1. [D] August 13. 28. How much would you have to pay to register two teams for the beach volleyball event? [A] \$3. [B] \$6. [C] \$10. [D] \$20. News Events History Access FAQs Where to Stay Getting Around Reservations Help Visit The Sunny Coast Resort Welcome to the Sunny Coast Resort Tourism Website! Here are the featured events this summer. If you want more information on any event, visit our Visitor Information Center website, or call 123-555-4400. August <table><tr><th>Date/Time</th><th>Place</th><th>Event</th></tr><tr><td>Saturday, August 12 10:00 am – 4:00 pm</td><td>Coral Bay Town Arena</td><td>Summer Music Festival at Sunny Coast The popular music festival is back this year with jazz, rock and pop bands on stage. Six bands will play this year. Visit Reservations for details. Tickets: Free You can have a picnic in the lawn arena. Try the finger-licking Picnic Box Lunch (\$5).</td></tr><tr><td>Sunday, August 13 11:00 am – 2:00 pm</td><td>Palm Avenue and Bayside Street</td><td>Beach Parade Come and see the famous Beach Parade with marching bands, flag squads, performing dance groups, jugglers and more! ★Do you and your friends want to take part? The entry deadline has been extended from July 23 to 30. Fill out the application form and submit it by the deadline. Viewing / Participation Fee: Free</td></tr><tr><td>Saturday, August 19 9:00 am – 4:00 pm</td><td>Sunny Coast Main Beach</td><td>Beach Volleyball Tournament We will host the annual tournament for beach volleyball lovers of all ages. Form a team of two players and submit the registration form by August 1. There are four categories for entry: Men, Women, Co-eds (18 years old and over), Juniors (13 – 17 years old) There are a maximum of 30 teams per category. Entry Fee: \$3 per team. (To be paid upon arrival.)</td></tr><tr><td>Sunday, August 20 9:30 am – 4:30 pm</td><td></td><td>SCR Cup: World Beach Volleyball Come and watch professional beach volleyball players in action. The top 8 men's and women's teams will compete in the SCR Cup Championship. Tickets: Standing: \$10 Bench seats: \$15</td></tr></table> For more information, visit Reservations. Sunny Coast Resort Privacy / Back to top <tr><td>解答例</td><td>B, B</td></tr>	Date/Time	Place	Event	Saturday, August 12 10:00 am – 4:00 pm	Coral Bay Town Arena	Summer Music Festival at Sunny Coast The popular music festival is back this year with jazz, rock and pop bands on stage. Six bands will play this year. Visit Reservations for details. Tickets: Free You can have a picnic in the lawn arena. Try the finger-licking Picnic Box Lunch (\$5).	Sunday, August 13 11:00 am – 2:00 pm	Palm Avenue and Bayside Street	Beach Parade Come and see the famous Beach Parade with marching bands, flag squads, performing dance groups, jugglers and more! ★Do you and your friends want to take part? The entry deadline has been extended from July 23 to 30. Fill out the application form and submit it by the deadline. Viewing / Participation Fee: Free	Saturday, August 19 9:00 am – 4:00 pm	Sunny Coast Main Beach	Beach Volleyball Tournament We will host the annual tournament for beach volleyball lovers of all ages. Form a team of two players and submit the registration form by August 1. There are four categories for entry: Men, Women, Co-eds (18 years old and over), Juniors (13 – 17 years old) There are a maximum of 30 teams per category. Entry Fee: \$3 per team. (To be paid upon arrival.)	Sunday, August 20 9:30 am – 4:30 pm		SCR Cup: World Beach Volleyball Come and watch professional beach volleyball players in action. The top 8 men's and women's teams will compete in the SCR Cup Championship. Tickets: Standing: \$10 Bench seats: \$15	解答例	B, B
Date/Time	Place	Event																
Saturday, August 12 10:00 am – 4:00 pm	Coral Bay Town Arena	Summer Music Festival at Sunny Coast The popular music festival is back this year with jazz, rock and pop bands on stage. Six bands will play this year. Visit Reservations for details. Tickets: Free You can have a picnic in the lawn arena. Try the finger-licking Picnic Box Lunch (\$5).																
Sunday, August 13 11:00 am – 2:00 pm	Palm Avenue and Bayside Street	Beach Parade Come and see the famous Beach Parade with marching bands, flag squads, performing dance groups, jugglers and more! ★Do you and your friends want to take part? The entry deadline has been extended from July 23 to 30. Fill out the application form and submit it by the deadline. Viewing / Participation Fee: Free																
Saturday, August 19 9:00 am – 4:00 pm	Sunny Coast Main Beach	Beach Volleyball Tournament We will host the annual tournament for beach volleyball lovers of all ages. Form a team of two players and submit the registration form by August 1. There are four categories for entry: Men, Women, Co-eds (18 years old and over), Juniors (13 – 17 years old) There are a maximum of 30 teams per category. Entry Fee: \$3 per team. (To be paid upon arrival.)																
Sunday, August 20 9:30 am – 4:30 pm		SCR Cup: World Beach Volleyball Come and watch professional beach volleyball players in action. The top 8 men's and women's teams will compete in the SCR Cup Championship. Tickets: Standing: \$10 Bench seats: \$15																
解答例	B, B																	

[News](#)
[Events](#)
[History](#)
[Access](#)
[FAQs](#)
[Where to Stay](#)
[Getting Around](#)
[Reservations](#)
[Help](#)

Visit The Sunny Coast Resort

Welcome to the Sunny Coast Resort Tourism Website!

Here are the featured events this summer. If you want more information on any event, visit our Visitor Information Center [website](#), or call **123-555-4400**.

August

Date/Time	Place	Event
Saturday, August 12 10:00 am – 4:00 pm	Coral Bay Town Arena	Summer Music Festival at Sunny Coast The popular music festival is back this year with jazz, rock and pop bands on stage. Six bands will play this year. Visit Reservations for details. Tickets: Free You can have a picnic in the lawn arena. Try the finger-licking Picnic Box Lunch (\$5).
Sunday, August 13 11:00 am – 2:00 pm	Palm Avenue and Bayside Street	Beach Parade Come and see the famous Beach Parade with marching bands, flag squads, performing dance groups, jugglers and more! ★Do you and your friends want to take part? The entry deadline has been extended from July 23 to 30. Fill out the application form and submit it by the deadline. Viewing / Participation Fee: Free
Saturday, August 19 9:00 am – 4:00 pm	Sunny Coast Main Beach	Beach Volleyball Tournament We will host the annual tournament for beach volleyball lovers of all ages. Form a team of two players and submit the registration form by August 1 . There are four categories for entry: Men, Women, Co-eds (18 years old and over), Juniors (13 – 17 years old) There are a maximum of 30 teams per category. Entry Fee: \$3 per team. (To be paid upon arrival.)
Sunday, August 20 9:00 am – 4:00 pm		SCR Cup: World Beach Volleyball Come and watch professional beach volleyball players in action. The top 8 men's and women's teams will compete in the SCR Cup Championship. Tickets: Standing: \$10 Bench seats: \$15

For more information, visit [Reservations](#).

Sunny Coast Resort

Privacy / Back to top

(参考)学 習指導要 領の関連 項目	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。 (2) イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。
---------------------------------------	---

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:GTEC Advanced タイプ

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:「話すこと」Part C

出題科目	英語										
出題のポイント	日常的な出来事について、話の流れを踏まえて相手に伝わるように状況を説明する力を測定する問題です。日常生活や学校、留学場面などの設定による出題となっています。										
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td>思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等			○				
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等									
		○									
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>○ (録音式)</td></tr></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式				○ (録音式)		
小問番号	選択式	短答式	記述式								
			○ (録音式)								
主として問う技能	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr></table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く				○	
小問番号	聞く	読む	話す	書く							
			○								
サンプル問題	Part C は4コマイラストの問題です。これから画面に表示される1コマめから4コマめのすべてのイラストについて、ストーリーを英語で話してください。はじめに準備時間が30秒あります。解答時間は1分です。この Part には例題はありません。録音開始の音が鳴ってから解答を始めてください。 あなたは、先日ある少年が経験したことを、留学生の友だちに話すことになりました。相手に伝わるように英語で話してください。(準備時間30秒／解答時間1分) 										
解答例	The other day a boy got up late in the morning. He didn't want to be late for school, so he rushed to the station. Luckily, he made it to the train on time. He was very relieved. However, when he got off the train he realized that he forgot his bag on the train. So, he asked the station staff about it.										

(参考)学習指導要領の関連項目	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) ウ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，話し合ったり意見の交換をしたりする。 コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) ウ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，話し合うなどして結論をまとめる。 (2) エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。 英語表現Ⅰ 2 内容 (1) ア 与えられた話題について，即興で話す。また，聞き手や目的に応じて簡潔に話す。 (1) ウ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどをまとめ，発表する。 (2) ウ 発表の仕方や発表のために必要な表現などを学習し，実際に活用すること。 英語表現Ⅱ 2 内容 (1) ア 与えられた条件に合わせて，即興で話す。また，伝えたい内容を整理して論理的に話す。 (2) ウ 発表の仕方や討論のルール，それらの活動に必要な表現などを学習し，実際に活用すること。
------------------------	--

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:GTEC Advanced タイプ

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:「書くこと」Part B

出題科目	英語													
出題のポイント	与えられた話題について、限られた時間の中で自分の意見を説得力を持って表現する力を測定する問題です。社会との接点を通して、個人の経験や他の事例をもとに自分の意見と理由を述べることに適した題材を出題します。													
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td>思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等			○				
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等												
		○												
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式				○		
小問番号	選択式	短答式	記述式											
			○											
主として問う技能	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>				小問番号	聞く	読む	話す	書く					○
小問番号	聞く	読む	話す	書く										
				○										
サンプル問題	・ライティングの時間は20分です。残り時間が2分になると放送で知らせます。 ・解答はすべて英語で、制限時間内でできるだけたくさん書きなさい。 ・自分自身の考えや具体的な経験に基づいて、自由に書きなさい。 ・イラストは、具体例を書くための参考です。イラストの内容を参考にして書いても、あなた自身の経験を書いてかまいません。 あなたはアメリカの現地校に短期留学をしています。授業で次の課題が出されました。 エッセーのテーマ： 現在、高齢化社会を迎えたといわれています。高齢化社会の問題点と思われる事例を取り上げて、そのことについてのあなた自身の考えを述べなさい。 													
解答例	Showing good manners with respect to older people is necessary for making a good place to live. However, people nowadays especially younger people do not have good manners. I think there are two reasons why this is true. Firstly, people now, especially younger people are selfish and do not think of other people's feelings and needs. For example, the other day I saw two students sitting in the train. They were talking and ignoring an old man standing in front of them. He had a cane and he looked very tired. They were only thinking of themselves. They were young and should have given their seats to him. Secondly, adults tend to ignore these types of problems and don't teach young people. They should set good examples for younger people. For example, when the two students didn't give their seats to the old man in the train, other adults noticed but didn't say anything. I think adults should teach younger people to understand the importance of being kind to others. For these two reasons, I think younger people do not have good manners. If we are going to make a good place to live in the future, we must start today.													

(参考)学習指導要領の関連項目	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，まとまりのある文章を書く。 (2) イ 論点や根拠などを明確にするとともに，文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。 (2) エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。 英語表現Ⅰ 2 内容 (1) イ 読み手や目的に応じて，簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら書くこと。また，書いた内容を読み返すこと。 英語表現Ⅱ 2 内容 (2) イ 論点や根拠などを明確にするとともに，文章の構成や図表との関連，表現の工夫などを考えながら書くこと。また，書いた内容を読み返して推敲すること。
------------------------	---

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:GTEC Basic タイプ

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:「聞くこと」Part A

出題科目	英語													
出題のポイント	イラストなど与えられた視覚的情報をもとに、状況や場面、事物を描写説明した単文を聞き分ける力を測定する問題です。キーワードを聞き取れるか、基本的なリスニング力が試されます。													
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td colspan="2">思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td></td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等			○				
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等												
	○													
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式		○				
小問番号	選択式	短答式	記述式											
	○													
主として問う技能	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				小問番号	聞く	読む	話す	書く		○			
小問番号	聞く	読む	話す	書く										
	○													
サンプル問題	ここでは、写真の内容を表す文として、[A]～[C]の3つの英文が読まれます。その中から、最も適当なものを1つ選びなさい。  [スクリプト] [A] A woman is wearing a dress in front of a mirror in a fitting room. [B] A woman is looking at herself in a mirror with a dress in her hands. [C] A woman is putting a dress beside a mirror near a shop window.													
解答例	B													

(参考)学 習指導要 領の関連 項目	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。 コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。
---------------------------------------	--

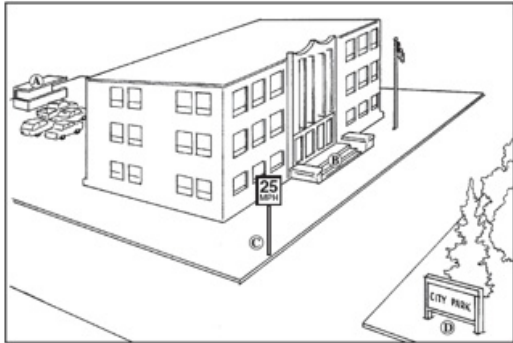
事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:GTEC Basic タイプ

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:「聞くこと」Part C

出題科目	英語													
出題のポイント	事前に与えられる視覚情報と音声情報から、その場で求められている課題（タスク）を解決する力を測定する問題です。場面設定が「ホームステイ中」「海外から来た留学生とのやりとり」などに設定されています。英語で指示を与えられて行動するという実際の英語でのやりとりに近い感覚を体感できます。													
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td>思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>Q27</td><td></td><td>○</td></tr></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	Q27		○							
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等												
Q27		○												
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td>Q27</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	Q27	○							
小問番号	選択式	短答式	記述式											
Q27	○													
主として問う技能	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td>Q27</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く	Q27	○						
小問番号	聞く	読む	話す	書く										
Q27	○													
サンプル問題	ここでは、まず状況を説明する日本語が読めます。続いて英文が読まれるので、イラストを見ながら聞きなさい。あなたは、各場面の日本人学生になったつもりで、イラストの下の質問に対する答えとして最も適当なものを、[A]～[D]の中から1つ選びなさい。 あなたはアメリカでホームステイ中です。ホストマザーと話をしていて、ホストブラザーの代わりに放課後の新聞配達をすることになりました。ホストマザーがあなたに頼むことを聞きなさい。  27. どこで新聞を受け取ればよいか。 [A] ㊶ [B] ㊷ [C] ㊸ [D] ㊹ [スクリプト] F: You'll have to get your newspapers at the school. M: Where will they be? F: Beside the parking lot. M: OK.													
解答例	A													

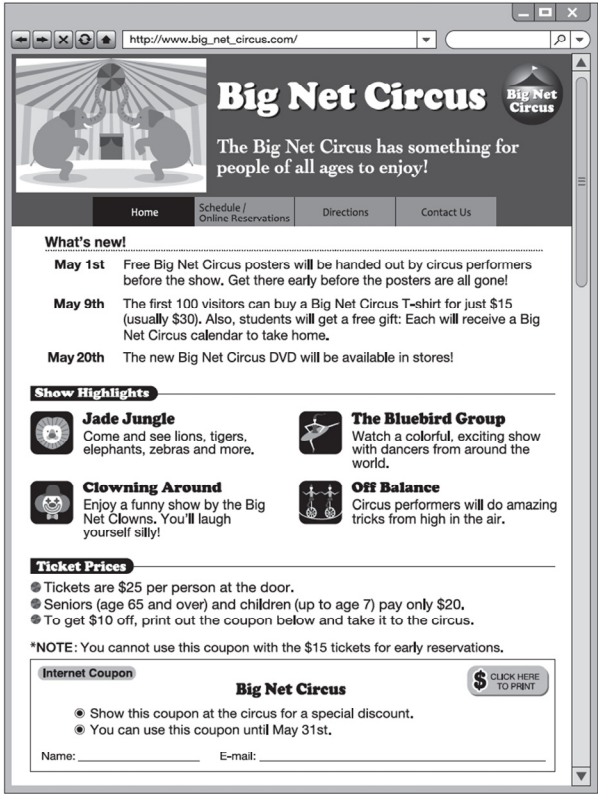
(参考)学 習指導要 領の関連 項目	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。 コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。
---------------------------------------	--

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション
 測定ツール名:GTEC Basic タイプ
 対象教科:英語
 測定内容の区分:標準タイプ
 サンプル問題番号:「読むこと」Part B 概要把握

出題科目	英語													
出題のポイント	与えられた英文の題材について、短時間で全体の概要を理解する力を測定する問題です。英語の新聞や雑誌の記事を模した英文を題材にしています。													
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td>思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等			○				
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等												
		○												
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式		○				
小問番号	選択式	短答式	記述式											
	○													
主として問う技能	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>				小問番号	聞く	読む	話す	書く			○		
小問番号	聞く	読む	話す	書く										
		○												
サンプル問題	ここでは、2つの形式の問題があります。英語の文章や図表の中から、質問に対する答えとなる考えや情報を<u>素早く</u>探し、最も適当なものを、[A]～[D]の中から1つ選びなさい。 In the south of the USA, barbecue has been a popular cooking style for more than a hundred years. Wood fires are often used to cook the food very slowly, for up to 18 hours! Sauce is added to the food while it is being cooked. Corn bread is usually eaten as a side dish. Because the food is cheap to prepare, it has become popular among regular working people. Today, barbecue is enjoyed by many kinds of people. What is this passage mainly about? [A] A style of cooking in the south of the USA. [B] Places to go to enjoy slowly cooked food. [C] The best kind of sauce to use for barbecue. [D] The reason barbecue is a cheap food to prepare.													
解答例	A													

(参考)学 習指導要 領の関連 項目	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) イ 説明，評論，物語，随筆などについて，速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また，聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。
---------------------------------------	--

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション
 測定ツール名:GTEC Basic タイプ
 対象教科:英語
 測定内容の区分:標準タイプ
 サンプル問題番号:「読むこと」Part B 情報検索

出題科目	英語															
出題のポイント	与えられた英文の題材について、短時間で必要な情報を引き出す力を測定する問題です。英語の広告や案内などを模した題材としています。															
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td>思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>Q17</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>Q18</td><td></td><td>○</td></tr></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	Q17		○	Q18		○						
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等														
Q17		○														
Q18		○														
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td>Q17</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>Q18</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	Q17	○			Q18	○					
小問番号	選択式	短答式	記述式													
Q17	○															
Q18	○															
主として問う技能	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td>Q17</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>Q18</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く	Q17		○			Q18		○		
小問番号	聞く	読む	話す	書く												
Q17		○														
Q18		○														
サンプル問題	17. You are a student. What will you be able to get for free at the show on May 9th? [A] A calendar. [B] A DVD. [C] A poster. [D] A T-shirt. 18. You are going to use the Internet Coupon. How much will you save with it? [A] \$10. [B] \$15. [C] \$20. [D] \$25. 															
解答例	A, A															

The screenshot shows the Big Net Circus website. The header includes the site name and a tagline: "The Big Net Circus has something for people of all ages to enjoy!". Navigation links include Home, Schedule / Online Reservations, Directions, and Contact Us.

What's new!

- May 1st**: Free Big Net Circus posters will be handed out by circus performers before the show. Get there early before the posters are all gone!
- May 9th**: The first 100 visitors can buy a Big Net Circus T-shirt for just \$15 (usually \$30). Also, students will get a free gift: Each will receive a Big Net Circus calendar to take home.
- May 20th**: The new Big Net Circus DVD will be available in stores!

Show Highlights

- Jade Jungle**: Come and see lions, tigers, elephants, zebras and more.
- The Bluebird Group**: Watch a colorful, exciting show with dancers from around the world.
- Clowning Around**: Enjoy a funny show by the Big Net Clowns. You'll laugh yourself silly!
- Off Balance**: Circus performers will do amazing tricks from high in the air.

Ticket Prices

- Tickets are \$25 per person at the door.
- Seniors (age 65 and over) and children (up to age 7) pay only \$20.
- To get \$10 off, print out the coupon below and take it to the circus.

***NOTE:** You cannot use this coupon with the \$15 tickets for early reservations.

Internet Coupon

Big Net Circus

- Show this coupon at the circus for a special discount.
- You can use this coupon until May 31st.

Name: _____ E-mail: _____

CLICK HERE TO PRINT

(参考)学 習指導要 領の関連 項目	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。 (2) イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。
---------------------------------------	---

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:GTEC Basic タイプ

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:「話すこと」Part C

出題科目	英語										
出題のポイント	日常的な出来事について、話の流れを踏まえて相手に伝わるように状況を説明する力を測定する問題です。日常生活や学校、留学場面などの設定による出題となっています。										
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td>思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等			○				
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等									
		○									
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>○ (録音式)</td></tr></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式				○ (録音式)		
小問番号	選択式	短答式	記述式								
			○ (録音式)								
主として問う技能	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr></table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く				○	
小問番号	聞く	読む	話す	書く							
			○								
サンプル問題	Part C は4コマイラストの問題です。これから画面に表示される1コマめから4コマめのすべてのイラストについて、ストーリーを英語で話してください。はじめに準備時間が30秒あります。解答時間は1分です。この Part には例題はありません。録音開始の音が鳴ってから解答を始めてください。 あなたは、先日ある少年が経験したことを、留学生の友だちに話すことになりました。相手に伝わるように英語で話してください。(準備時間30秒／解答時間1分)										
解答例	The other day a boy got up late in the morning. He didn't want to be late for school, so he rushed to the station. Luckily, he made it to the train on time. He was very relieved. However, when he got off the train he realized that he forgot his bag on the train. So, he asked the station staff about it.										

(参考)学習指導要領の関連項目	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) ウ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，話し合ったり意見の交換をしたりする。 コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) ウ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，話し合うなどして結論をまとめる。 (2) エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。 英語表現Ⅰ 2 内容 (1) ア 与えられた話題について，即興で話す。また，聞き手や目的に応じて簡潔に話す。 (1) ウ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどをまとめ，発表する。 (2) ウ 発表の仕方や発表のために必要な表現などを学習し，実際に活用すること。 英語表現Ⅱ 2 内容 (1) ア 与えられた条件に合わせて，即興で話す。また，伝えたい内容を整理して論理的に話す。 (2) ウ 発表の仕方や討論のルール，それらの活動に必要な表現などを学習し，実際に活用すること。
------------------------	--

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:GTEC Basic タイプ

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:「書くこと」Part B

出題科目	英語													
出題のポイント	与えられた話題について、限られた時間の中で自分の意見を説得力を持って表現する力を測定する問題です。社会との接点を通して、個人の経験や他の事例をもとに自分の意見と理由を述べることに適した題材を出題します。													
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td>思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等			○				
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等												
		○												
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式				○		
小問番号	選択式	短答式	記述式											
			○											
主として問う技能	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>				小問番号	聞く	読む	話す	書く					○
小問番号	聞く	読む	話す	書く										
				○										
サンプル問題	・ライティングの時間は20分です。残り時間が2分になると放送で知らせます。 ・解答はすべて英語で、制限時間内でできるだけたくさん書きなさい。 ・自分自身の考えや具体的な経験に基づいて、自由に書きなさい。 ・イラストは、具体例を書くための参考です。イラストの内容を参考にして書いても、あなた自身の経験を書いてもかまいません。 あなたは海外で語学研修に参加しています。授業で次の課題が出されました。 エッセーのテーマ： あなたが今、「やってみたいこと」や「やっておくべきと思うこと」について、自分の考えを書きなさい。 													
解答例	I love to read books in my free time. Reading is not only fun, but it is also very important to me. I have several reasons for this. The first reason is that I want to be a writer someday. In order to become a writer, I have to get as much knowledge as I can. I will have to read about many different topics such as science and art. Also, I will need to read different types of books, like mysteries and love stories. This is why I like to read many different kinds of books. The second reason is that I can learn different values. When I read, I can experience how other people feel and think. I think it is very important to understand other points of view. When I read, I learn about other people's cultures, and about other people's values and feelings. I think this is very important. It is only by reading books can we do this. To become a writer, I think I will need a lot of knowledge and creativity. Before I can write my own books, I must read other books. For these reasons, reading many books is very important to me.													

(参考)学習指導要領の関連項目	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，まとまりのある文章を書く。 (2) イ 論点や根拠などを明確にするとともに，文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。 (2) エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。 英語表現Ⅰ 2 内容 (1) イ 読み手や目的に応じて，簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら書くこと。また，書いた内容を読み返すこと。 英語表現Ⅱ 2 内容 (2) イ 論点や根拠などを明確にするとともに，文章の構成や図表との関連，表現の工夫などを考えながら書くこと。また，書いた内容を読み返して推敲すること。
------------------------	---

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:GTEC Core タイプ

対象教科:英語

測定内容の区分:基本タイプ

サンプル問題番号:「聞くこと」Part A

出題科目	英語													
出題のポイント	イラストなど与えられた視覚的情報をもとに、状況や場面、事物を描写説明した単文を聞き分ける力を測定する問題です。キーワードを聞き取れるか、基本的なリスニング力が試されます。													
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td colspan="2">思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td></td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等			○				
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等												
	○													
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式		○				
小問番号	選択式	短答式	記述式											
	○													
主として問う技能	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				小問番号	聞く	読む	話す	書く		○			
小問番号	聞く	読む	話す	書く										
	○													
サンプル問題	ここでは、写真の内容を表す文として、[A]～[C]の3つの英文が読まれます。その中から、最も適当なものを1つ選びなさい。  [A] [B] [C] [スクリプト] [A] A man is playing with a dog. [B] A man is walking with a dog. [C] A man is washing a dog.													
解答例	C													

(参考)学 習指導要 領の関連 項目	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。 中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) 言語活動 ア 聞くこと (ア) 強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく聞き取ること。 (イ) 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ること。 (3) 言語材料 (ア) 音声 (イ) 文字及び符号 (ウ) 語、連語及び慣用表現 (エ) 文法事項（本項目で規定されているものはすべて対象）
---------------------------------------	--

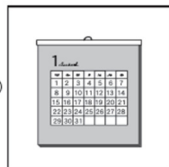
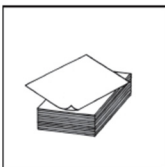
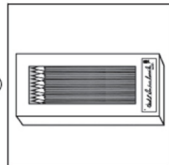
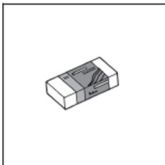
事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:GTEC Core タイプ

対象教科:英語

測定内容の区分:基本タイプ

サンプル問題番号:「聞くこと」Part C

出題科目	英語													
出題のポイント	事前に与えられる視覚情報と音声情報から、その場で求められている課題（タスク）を解決する力を測定する問題です。場面設定が「ホームステイ中」「海外から来た留学生とのやりとり」などに設定されています。英語で指示を与えられて行動するという実際の英語でのやりとりに近い感覚を体感できます。													
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td>思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>Q21</td><td></td><td>○</td></tr></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	Q21		○							
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等												
Q21		○												
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td>Q21</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	Q21	○							
小問番号	選択式	短答式	記述式											
Q21	○													
主として問う技能	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td>Q21</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く	Q21	○						
小問番号	聞く	読む	話す	書く										
Q21	○													
サンプル問題	ここでは、まず状況を説明する日本語が読まれます。続いて英文が読まれるので、イラストを見ながら聞きなさい。あなたは、各場面の日本人学生になったつもりで、イラストの下の質問に対する答えとして最も適当なものを、[A]～[D]の中から1つ選びなさい。 あなたはアメリカにホームステイ中です。学校の課題をしているホストシスターが、あなたに頼みごとをしています。まず、ホストシスターからあなたに話しかけます。 A  B  C  D  21 あなたは何を買ってくるか。 [A] ㊶ [B] ㊵ [C] ㊷ [D] ㊴ [スクリプト] F: Can you go shopping for me? I'm making a calendar for school. M: Sure. F: I have a lot of paper, but I need some pencils. M: OK. Do you need an eraser? F: No, thanks.													
解答例	C													

(参考)学 習指導要 領の関連 項目	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。 中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) 言語活動 ア 聞くこと (オ) まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること。 (3) 言語材料 (ア) 音声 (イ) 文字及び符号 (ウ) 語、連語及び慣用表現 (エ) 文法事項（本項目で規定されているものはすべて対象）
---------------------------------------	--

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション
 測定ツール名:GTEC Core タイプ
 対象教科:英語
 測定内容の区分:基本タイプ
 サンプル問題番号:「読むこと」Part B-1 情報検索

出題科目	英語																														
出題のポイント	与えられた英文の題材について、短時間で必要な情報を引き出す力を測定する問題です。英語の広告や案内などを模した題材としています。																														
主として問う能力	<table><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr><tr><td>Q17</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>Q18</td><td></td><td>○</td></tr></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	Q17		○	Q18		○																					
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																													
Q17		○																													
Q18		○																													
出題形式	<table><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr><tr><td>Q17</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>Q18</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	Q17	○			Q18	○																				
小問番号	選択式	短答式	記述式																												
Q17	○																														
Q18	○																														
主として問う技能	<table><tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr><tr><td>Q17</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>Q18</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く	Q17		○			Q18		○																	
小問番号	聞く	読む	話す	書く																											
Q17		○																													
Q18		○																													
サンプル問題	ここでは、2つの形式の問題があります。英語の図表や文章の中から、質問に対する答えとなる情報や考えを素早く探し、最も適当なものを、[A]～[D]の中から1つ選びなさい。 17 How many days a week can you study with a German teacher? [A] Two days. [B] Three days. [C] Four days. [D] Five days. 18 Today is Saturday. What should you do to take a lesson? [A] Call the International Students Office. [B] Go to the Greenlee College office. [C] Send an e-mail to the International Students Office. [D] Talk to Mr. Tim Dudley. Foreign Language Volunteer Teachers Do you need help studying a foreign language? Let the international students at Greenlee College help! We have teachers on these days(●): <table><tr><th>Language</th><th>Mon</th><th>Tue</th><th>Wed</th><th>Thu</th><th>Fri</th></tr><tr><td>Chinese</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td></td><td>●</td></tr><tr><td>French</td><td>●</td><td></td><td>●</td><td></td><td>●</td></tr><tr><td>German</td><td></td><td>●</td><td></td><td>●</td><td></td></tr><tr><td>Spanish</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr></table>  * We also need more international students to be volunteer teachers! Call Mr. Tim Dudley at 555-800-3516, or send him an e-mail at <new-tutors@greenlee.edu>. To take a lesson, call or send an e-mail to the International Students Office. Tel: 555-800-0848 (9 am - 5 pm, Monday - Friday) E-mail (7 days a week): iso@greenlee.edu	Language	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Chinese	●	●	●		●	French	●		●		●	German		●		●		Spanish	●	●	●	●	●
Language	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri																										
Chinese	●	●	●		●																										
French	●		●		●																										
German		●		●																											
Spanish	●	●	●	●	●																										
解答例	A, C																														

(参考)学 習指導要 領の関連 項目	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、 概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) 言語活動 ウ 読むこと (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。 (3) 言語材料 (イ) 文字及び符号 (ウ) 語、連語及び慣用表現 (エ) 文法事項（本項目で規定されているものはすべて対象）
---------------------------------------	--

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション
 測定ツール名:GTEC Core タイプ
 対象教科:英語
 測定内容の区分:基本タイプ
 サンプル問題番号:「読むこと」Part B-2 概要把握

出題科目	英語										
出題のポイント	与えられた英文の題材について、短時間で全体の概要を理解する力を測定する問題です。英語の新聞や雑誌の記事を模した英文を題材にしています。										
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td>思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等			○				
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等									
		○									
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式		○				
小問番号	選択式	短答式	記述式								
	○										
主として問う技能	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く			○		
小問番号	聞く	読む	話す	書く							
		○									
サンプル問題	ここでは、2つの形式の問題があります。英語の図表や文章の中から、質問に対する答えとなる情報や考えを<u>素早く探し</u>、最も適当なものを、[A]～[D]の中から1つ選びなさい。 London had traffic lights about 20 years before its first cars. That was because the roads were already busy with many people and horses, and the lights were needed to control the heavy traffic. Police officers had to stand next to the traffic lights and change the red and green lamps, for “stop” and “be careful,” by hand. 19 これは主に何について書かれていますか。 [A] The busy roads that go to London. [B] The first traffic lights in London. [C] The history of London’s first cars. [D] The work of London police officers.										
解答例	B										

(参考)学 習指導要 領の関連 項目	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) 言語活動 ウ 読むこと (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。 (3) 言語材料 (イ) 文字及び符号 (ウ) 語、連語及び慣用表現 (エ) 文法事項（本項目で規定されているものはすべて対象）
---------------------------------------	---

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:GTEC Core タイプ

対象教科:英語

測定内容の区分:基本タイプ

サンプル問題番号:「話すこと」Part C

出題科目	英語													
出題のポイント	日常的な出来事について、話の流れを踏まえて相手に伝わるように状況を説明する力を測定する問題です。日常生活や学校、留学場面などの設定による出題となっています。													
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td>思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等			○				
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等												
		○												
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>○ (録音式)</td></tr></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式				○ (録音式)		
小問番号	選択式	短答式	記述式											
			○ (録音式)											
主として問う技能	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr></table>				小問番号	聞く	読む	話す	書く				○	
小問番号	聞く	読む	話す	書く										
			○											
サンプル問題	Part C は4コマイラストの問題です。画面に表示された1コマめから4コマめのイラストについて、ストーリーを英語で話してください。はじめに準備時間が30秒あります。解答時間は40秒です。ゝ ※録音開始の音が鳴ってから解答を始めてください。ゝ 画面のイラストは、昨日あなたに起こった出来事です。あなたが登場人物（＝女の子）になったつもりで、起こった出来事について英語で説明してください。ゝ    													
解答例	I was looking for my cat. / I found it in a tree. / I showed some food to the cat. / The cat came down from the tree.													

(参考)学習指導要領の関連項目	コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) ウ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，話し合ったり意見の交換をしたりする。 英語表現 I 2 内容 (1) ア 与えられた話題について，即興で話す。また，聞き手や目的に応じて簡潔に話す。 (1) ウ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどをまとめ，発表する。 (2) ウ 発表の仕方や発表のために必要な表現などを学習し，実際に活用すること。 中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) 言語活動 イ 話すこと (ア) 強勢，イントネーション，区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ，正しく発音すること。 (イ) 自分の考えや気持ち，事実などを聞き手に正しく伝えること。 (エ) つなぎ言葉を用いるなどのいろいろな工夫をして話を続けること。 (3) 言語材料 (ア) 音声 (イ) 文字及び符号 (ウ) 語，連語及び慣用表現 (エ) 文法事項（本項目で規定されているものはすべて対象）
------------------------	--

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:GTEC Core タイプ

対象教科:英語

測定内容の区分:基本タイプ

サンプル問題番号:「書くこと」Part B

出題科目	英語													
出題のポイント	与えられた話題について、限られた時間の中で自分の意見を説得力を持って表現する力を測定する問題です。日常生活の中から、個人が経験したことをもとに自分の意見と理由を述べることに適した題材を出題します。													
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td>思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等			○				
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等												
		○												
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式				○		
小問番号	選択式	短答式	記述式											
			○											
主として問う技能	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>				小問番号	聞く	読む	話す	書く					○
小問番号	聞く	読む	話す	書く										
				○										
サンプル問題	・ライティングの時間は20分です。残り時間が2分になると放送で知らせます。 ・解答はすべて英語で、制限時間内でできるだけたくさん書きなさい。 ・自分自身の考えや具体的な経験に基づいて、自由に書きなさい。 ・イラストは、具体例を書くための参考です。イラストの内容を参考にして書いても、あなた自身の経験を書いてかまいません。 あなたは海外で語学研修に参加をしています。授業で次の課題が出されました。 エッセーのテーマ： あなたにとって、「親友」とはどのような友達であるべきですか？今までにあったことや想像した事を例としてあげ、考えをまとめましょう。 〔※下のイラストは具体的に例を挙げるときの参考です。 イラストの内容を描写しても、あなた自身の経験を書いてかまいません。〕 〈参考〉 													
解答例	❶ I think that making a best friend is difficult but very important. There are three points that my best friend should have. ❷ First, she needs to be kind and understanding. <i>When I feel sad and do not want to be alone, I want her to stay with me.</i> I want to share not only the good times but also the hard times with her. ❸ Second, she should be a hard worker. I want her to challenge me and be my rival. I'd like to get the best grades in class, and I hope she will think in the same way. Then, both of us always can do better than before on our exams. <i>Teamwork, like studying in the library to help each other, is important.</i> ❹ Third, she should be a good listener because I love talking and would like to make her laugh. A lot of smiles can bring peace to our friendship. ❺ In the end, finding a best friend is not easy but I try to find her.													

(参考)学 習指導要 領の関連 項目	コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 英語表現Ⅰ 2 内容 (1) イ 読み手や目的に応じて，簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら書くこと。また，書いた内容を読み返すこと。 中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) 言語活動 エ 書くこと (ア) 文字や符号を識別し，語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。 (イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。 (ウ) 聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり，感想，賛否やその理由を書いたりなどすること。 (エ) 身近な場面における出来事や体験したことなどについて，自分の考えや気持ちなどを書くこと。 (オ) 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように，文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。
---------------------------------------	---